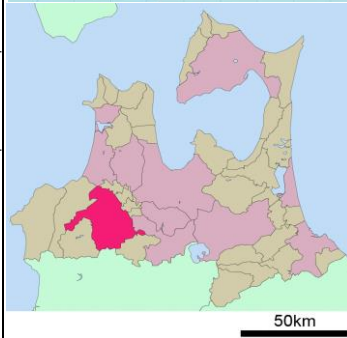


日仏地方自治体 紹介



第6回 日仏自治体交流会議
KUMAMOTO

自治体名 弘前市		 
都道府県	青森県	
市町村	弘前市	
面積	524.20km ²	
人口	172,500 人 (推計人口、2018 年 4 月 1 日)	
姉妹（友好）都市名	なし	
担当者連絡先： (住所 - 電話 - E-mail)	小野 孔明 〒036-8551 青森県弘前市上白銀町 1-1 電話 0172-35-1135 E-MAIL kou2-ono@city.hirosaki.lg.jp	

1. 自治体の地勢（約 4 行）

弘前市は、本州最北端の青森県南西部にある内陸型の都市である。
東・西・南の三方を山で囲まれ、平野部には岩木川が北流し、流域は県内屈指の穀倉地帯となっており、周辺の丘陵地では全国のりんごの約 2 割を生産する樹園地が広がるなど、緑豊かな自然環境に恵まれている。

2. 自治体の簡単な歴史（約 4 行）

弘前市は、1590 年までに初代津軽藩主津軽為信が津軽地域を統一し、1611 年に 2 代藩主信枚（のぶひら）が市の中心部に弘前城を築城して以降、400 年以上にわたり、津軽地域の政治・経済・文化の中心として繁栄してきた。
現在は、お城と桜に代表される文化遺産の薫り高いまち、日本一の生産量を誇るりんごのまち、さらには 16 の高等教育機関を有する東北地方屈指の学園都市として、成長し続けている。

3. 特徴（約 4 行）

弘前市は、農業人口比率が 15.4%（2015 年）と、全国平均（4.2%）の 3 倍以上となっており、日本国内のりんごの約 20%を生産するなど、全国有数の農業都市である。
近年では、より付加価値の高いりんご加工品「シードル」だけでなく、りんご栽培を支える道具として、当市で初めて製作された剪定鋏などの津軽打刃物や、りんご収穫用の手籠である津軽竹籠など、職人の手仕事による伝統工芸品も注目されている。

4. 主要産業及び特産品（約 4 行）

主要産業：農業
特産品：シードル、伝統工芸品（津軽打刃物、津軽竹籠など）

5. フランスとのイベントや活動又は自治体のプロモーション（約4行）

弘前市は、フランス最大のりんご産地であり、シードルの先進地でもあるノルマンディー地方カルヴァドス県ブーヴロン・アン・ノージュ村と、平成24年10月より、当市の特産品であるシードルの生産技術及び販売促進に係る相互支援協定を締結し、フランスからの生産者招聘による醸造指導やシードルまつりによる消費拡大など、シードルを通じた交流が続いている。

6. 自団体の取り組みで、フランスの自治体と共有できる良い事例はどのようなものがありますか？（テーマ、計画、事例など）

上記5に同じ。

仙台市		
都道府県 市町村	宮城県仙台市	
面 積	786.30km ²	
人口	1,086,904 人	
姉妹（友好）都市名	レンヌ市	
担当者連絡先： （住所 - 電話 - E-mail）	文化観光局交流企画課 仙台市青葉区国分町 3-7-1 TEL：+81-22-214-1252 Email：mariko_yoshida@city.sendai.jp	

1. 自治体の地勢

仙台市は、日本の東北部に位置します。東京からの新幹線で約 1 時間半という距離ですが、豊かな自然と調和した近代的な都市として知られ、「杜の都」という愛称で親しまれています。気候も温暖で、住みやすいまちとして高く評価されており、また、市内には、スキー場、温泉もあります。

2. 自治体の簡単な歴史

仙台市の歴史は、1600 年に伊達政宗公が居城を定めたことに始まります。その後、全国有数の城下町として栄え、1889 年に市制を施行しました。1989 年には政令指定都市に昇格し、日本の東北地方の政治・経済・行政の中核都市として発展してきました。

3. 特徴

東北大学をはじめ、多くの大学や高等教育機関が立地し、国内外から多くの学生や研究者が集まっていることから、「学都」として有名です。また、夏の「仙台七夕まつり」、秋の「定禅寺ストリートジャズフェスティバル」、冬の「SENDAI 光のページェント」など、一年を通じて様々な祭りや芸術・文化イベントが開催されています。2011 年 3 月に発生した東日本大震災では大きな被害を受けたものの、国内外から多くの励ましやご支援を受け、着実に復旧・復興に力を尽くすとともに、仙台・東北の更なる発展に向けた取組を進めております。

4. 主要産業及び特産品

主要産業：卸売・小売業やサービス業が中心の商業都市でありながら、仙台平野を中心に農業も盛んです。

現在は「学都」としての高度な知的資源を活かした新産業の創出や、藩政時代からの伝統工芸品と新鋭デザインとのコラボレーションによる新商品開発等にも取り組んでいます。

特 産 品：仙台平（絹織物）、こけし、コメ、牛タン焼き、笹かまぼこ 等

5. フランスとのイベントや活動又は自治体のプロモーション

毎年、仙台国際ハーフマラソン大会にレンヌ市選手団を招待しています。2017 年度は、レンヌ市との姉妹都市提携 50 周年を記念して公式訪問団を派遣し、東日本大震災支援への謝意を改めてお伝えするとともに、両市の市民交流を促進するため、本市の観光プレゼンテーションを実施しました。併せて、スポーツを通じた市民交流も実施しました。また、レンヌ市公式訪問団が来仙し、提携 50 周年記念式典への参加、レンヌ市観光プレゼンテーション、沿岸部復興状況視察等を実施しました。

6. フランスの自治体と日本の自治体が共有できる良い事例はどのようなものがありますか？（テーマ、計画、事例など）

- ・ 東日本大震災の教訓を生かした防災に関する「仙台モデル」の構築
（地域コミュニティにおける防災活動支援、防災教育の推進、大学と連携した震災に関する知の集積・発信）
- ・ 震災の記憶を後世に伝えるための震災メモリアル事業（震災遺構の保存やアーカイブの整備等）

自治体名 白 河 市		
都道府県	福島県	
市町村	白河市	
面 積	305.32km2	
人口	60,796 人	
姉妹（友好）都市名	コンピエーニュ市	
担当者連絡先： （住所 - 電話 - E-mail）	白河市八幡小路 7-1 0248-22-1111 hisho@city.shirakawa.fukushima.jp	

1. 自治体の地勢（約 4 行）

白河市は、那須連峰を望む福島県の南部中央に位置し、市の中心部から県庁所在地福島市まで **90km**、東京都心まで約 **180km** の距離にあります。市内には阿武隈川、社川、隈戸川をはじめとする多くの河川が縦横に流れ、源流域には、優良農地が広がり、豊かな田園風景を形成しています。また、市の中心部では、阿武隈川に沿って東西にコンパクトな市街地が広がっています。

2. 自治体の簡単な歴史（約 4 行）

みちのくの玄関口、白河の地名は奈良時代の文献で確認でき、大化の改新以後、設置された歌枕として名高い「白河関」が設置され、奥州の関門を担ってきました。鎌倉時代から **400** 年にわたり白河結城氏が支配し、南北朝時代に小峰城が築かれました。江戸時代の丹羽氏以後、**7 家 21** 代にわたり藩主が変遷しました。その後、明治 **22** 年に白河町制を敷き、昭和 **24** 年には市制施行、平成 **17** 年には平成の大合併により白河市、表郷村、大信村、東村が合併し、現在に至ります。

3. 特徴（約 4 行）

白河市には、「白河関跡」をはじめ、白河藩主松平定信が「士民共楽」の地として築造した日本最古の公園といわれる「南湖公園」、結城親朝により築かれた「小峰城」、権太倉山の麓にある巨石で源義経が名づけたといわれる「聖ヶ岩」、国内唯一の氷河期の残存植物ともいわれる「ビャッコイ」の自生地など豊かな自然や多くの歴史的・文化的遺産が現代へと受け継がれています。

4. 主要産業及び特産品（約 4 行）

自動車用タイヤ、農産物、だるま（縁起物）、白河ラーメン、そば

5. フランスとのイベントや活動又は自治体のプロモーション（約 4 行）

フランス・コンピエーニュ市とは、姉妹都市を締結して **30** 年が経過しました。

6. 自団体の取り組みで、フランスの自治体と共有できる良い事例はどのようなものがありますか？（テーマ、計画、実例など）

自治体名 茨城県		
都道府県	茨城県	
市町村		
面積	6,097.06km ²	
人口	2,892 人	
姉妹（友好）都市名	フランス エソンヌ県	
担当者連絡先： （住所 - 電話 - E-mail）	水戸市笠原町 9 7 8 - 6 029-301-2862 kokuko2@pref.ibaraki.lg.jp	
1. 自治体の地勢（約 4 行） 茨城県は、日本列島のほぼ中央を占める関東地方の北東にあり、東は太平洋に面していて、首都東京の中心から、県庁所在地である水戸市は 100 キロ圏内にあります。 また、「日本の最も美しい場所 31 選」にも選ばれた丘一面を埋め尽くすネモフィラやコキアで有名な国営ひたち海浜公園や、「西の富士、東の筑波」と称される名峰、筑波山があるなど自然環境に恵まれています。 2. 自治体の簡単な歴史（約 4 行） 豊かな土壌や太平洋の海の幸に恵まれた茨城県は、8 世紀前半から多くの人々が豊かに暮らしてきました。特に、江戸時代には、水戸に徳川家の藩が置かれ、江戸に近く水陸交通の要所として発展するなど、地方における政治、経済、文化の中心として栄えていました。1871 年に県の統廃合により茨城県が設置され、1875 年に現在の規模になりました。 3. 特徴（約 4 行） つくばエクスプレスや高速道路といった広域交通ネットワークの整備が進み、都心へのアクセスが更に便利になる一方、首都圏北部の空の玄関口である茨城空港からは、国内各路線に加えて上海、台北、韓国に結ばれるなど利便性がますます向上しています。また、2019 年にはつくば市で G20 関係閣僚会合「貿易・デジタル経済大臣会合」が、2020 年には、東京オリンピックのサッカー競技が「茨城カシマスタジアム」で開催されます。 4. 主要産業及び特産品（約 4 行） 茨城県は温暖な気候で農業に適した豊かな土地が広大にあり、2016 年は、農業産出額は全国第 2 位、メロン、ピーマン、レンコンなどの産出額は全国第 1 位となりました。一方、つくば市には研究学園都市として約 300 の研究所等があり、2 万人を超える研究者が最先端の研究に取り組み、製造と科学技術分野の牽引により、2016 年は製造品出荷額で全国第 8 位となりました。		

5. フランスとのイベントや活動又は自治体のプロモーション（約4行）

1986年4月、国際科学技術博覧会（つくば万博）における交流を縁に、茨城県とエソンヌ県との間で友好提携を締結。その後、友好使節団の派遣などの交流を進めてきたところです。

6. 自団体の取り組みで、フランスの自治体と共有できる良い事例はどのようなものがありますか？（テーマ、計画、実例など）

- ・大学や研究機関との間の連携の強化など（今後）

自治体名		
都道府県 市町村	富岡市	
面積	122.9 km ²	
人口	49,274 人	
姉妹（友好）都市名	ブル・ド・ペアージュ	
担当者連絡先： （住所 - 電話 - E-mail）	富岡市富岡 1 - 1 0274-64-0005 seishijou3@city.tomioka.lg.jp	

1. 自治体の地勢（約 4 行）

富岡市は、日本のほぼ中央に位置します。東京から約 100 km北に位置し、高速自動車道によって東京と約 1 時間で結ばれています。南と西には、1,000m を超す山々が連なり、北は丘陵地帯を形成しています。市街地は、市の中央部を流れる河川沿いの平地にあり、四季の変化に富んだ自然豊かなまちです。

2. 自治体の簡単な歴史（約 4 行）

富岡市の市街地の歴史は、ちょうど 400 年前に新たに街並みが形成されたことに始まります。江戸（現在の東京）に向けて運ばれた砥石の中継地として開発されました。18 世紀には絹市が立ち、群馬県西部地域の商業の中心都市として発展しました。19 世紀後半以降には製糸業を中心に発展を遂げました。

3. 特徴（約 4 行）

1872 年ブル・ド・ペアージュ出身のポール・ブリュナをはじめとしたフランス人の指導の下、富岡製糸場が建設されました。日本の近代化の礎となった富岡製糸場は、1987 年に操業を停止しましたが、現在も建設同時のまま残っています。2014 年富岡製糸場は、他の 3 つの関連資産群とともに「富岡製糸場と絹産業遺産群」として世界遺産に登録され、同年には国宝にも指定されました。

4. 主要産業及び特産品（約 4 行）

農業、機械金属工業、養蚕
野菜や花卉などの園芸作物、こんにゃく、しいたけ

5. フランスとのイベントや活動又は自治体のプロモーション（約 4 行）

「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録を記念し、リヨンにおいて、絹を通じた日仏交流の歴史を紹介する大型文化事業「絹が結ぶ縁 SOYEUX DESTINS」を在リヨン領事事務所と開催しました。また、ポール・ブリュナの出身地であるブル・ド・ペアージュと友好都市協定を締結し、平成 29 年度は、「富岡製糸のルーツを探る」と題して、日仏交流シンポジウム及び富岡市民訪問団「富岡製糸場のルーツを巡る旅」を実施しました。

6. 自団体の取り組みで、フランスの自治体と共有できる良い事例はどのようなものがありますか？（テーマ、計画、実例など）

文化遺産・産業遺産の活用方法や、インタープリテーションツールの開発について情報を共有したいと思います。

自治体名		
都道府県	埼玉	
市町村	川越	
面積	109.13km ²	
人口	352,939 人	
姉妹（友好）都市名	オータン	
担当者連絡先： （住所 - 電話 - E-mail）	川越市元町 1-3-1 049-224-5506 kokusaikoryu@city.kawagoe. saitama.jp	

1. 自治体の地勢（約 4 行）

川越市は都心から 30 キロメートル圏内、武蔵野台地の東北端に位置しており、東西 16.27km、南北 13.81km で面積は 109.13 平方キロメートルです。西から東へ向けてゆるやかに傾斜していますが、全体的に平坦でおおまかには北東部の水田地帯、中央部の市街地、南西部の畑地帯に分けられます。

2. 自治体の簡単な歴史（約 4 行）

比較的早い時期から住むのに適した土地だったと考えられ、市内を流れる河川の流域などでは縄文・弥生時代の住居跡が発見されています。1457 年に川越城が築かれ、川越の中心は現在の位置となりました。江戸時代には江戸の北の守りとともに舟運を利用した物資の集積地として重要視されました。大正 11 年に埼玉県内で初めて市制を施行し、昭和 30 年には隣接する 9 村を合併し現在の市域となり、平成 15 年に埼玉県内で初めて中核市に移行しました。

3. 特徴（約 4 行）

江戸の情緒を色濃く残し、小江戸として知られています。蔵造の街並みや川越まつりなど歴史的・文化的遺産が数多く残っていることから多くの観光客が訪れています。埼玉県南西部地域における産業・経済・文化の中核都市として発展し、農業・工業・商業のバランスが取れた産業構造になっています。

4. 主要産業及び特産品（約 4 行）

観光・農業・工業・商業

5. フランスとのイベントや活動又は自治体のプロモーション（約4行）

東京 2020 オリンピックのゴルフ競技は、市内にある霞ヶ関カンツリー倶楽部で開催されます。これをきっかけとして、国内外からより多くの方々に川越を訪れていただけることを期待しています。

6. 自団体の取り組みで、フランスの自治体と共有できる良い事例はどのようなものがありますか？（テーマ、計画、事例など）

オータン市と連携をとりながら、同世代間の学校交流等を検討していきたいと考えています。

自治体名		
都道府県	市川市	
市町村		
面積	56.39km ²	
人口	485,767 人(2018. 3. 31 現在)	
姉妹(友好)都市名	イッシー・レ・ムリノー市 ※パートナーシティ	
担当者連絡先： (住所 - 電話 - E-mail)	国際交流課（市川市八幡 1-1-1 -047-300-8051- International-relations @city.ichikawa.chiba.jp	

1. 自治体の地勢

東京都に隣接し、千葉県北西部に位置しています。都心から 20km 圏内に位置し、都心部と県内各地を結ぶ交通網が集中している交通の利便性が高い街です。また、成田・羽田両国際空港へも 1 時間以内と高い利便性を持ち合わせています。市の北部では梨栽培が盛んで緑が多く、南部は東京湾を望み、湾岸エリアの工業地帯の一翼を担っています。

2. 自治体の簡単な歴史

今から 3000 年ほど前、本市の半分は海でした。そのため、現代では貝塚やクジラの化石などが発掘されています。時代が変遷していく中、古代では地方行政や文化の中心として、近世では時の政権による庇護のもと、塩田が広がる塩の産地として発展してきました。その後、1934 年に近隣町村が合併し、市政を施行しました。

3. 特徴

高い交通利便性を有することから都内に勤務する者が多く住む住宅都市であり、多くの高校・大学が存在する学園都市でもあります。また、日本国内でも有名なお寺や公園など歴史遺産が多く、文人墨客が好んで住む文化都市としての一面もあります。市内には非常にお寺が多く、仏教彫刻を生業とする仏師たちが住みついていたことから、国内有数の神輿の産地となっており、現在も神輿の町として有名です。

4. 主要産業及び特産品

市川市は全国有数の梨の産地であり、その知名度や品質が評価され、“市川のなし”として特許庁から地域ブランドの認証を受けました。2013 年には海外への輸出も開始され、世界的に販路が拡大されています。また、海岸沿いは古くから海苔の産地であり、かつては塩づくりも行われていました。近年は海苔のほか、スズキやアサリ、ホンビノスガイなどが水揚げされています。

5. フランスとのイベントや活動又は自治体のプロモーション

パートナーシティであるイッシー・レ・ムリノー市とは、ICT 施策のほか、花と緑の街施策、文化・芸術を交流分野とし、自治体間交流だけでなく、青少年及び市民主体の交流を推進しています。

6. 自団体の取り組みで、フランスの自治体と共有できる良い事例はどのようなものがありますか？

持続可能な開発（エコ地区、スマートシティなど）や文化・芸術交流、青少年交流などにおいて、“民”の力を活用した交流を推進しています。具体的には市民団体による日本文化紹介事業の実施、市内企業による芸術作品展の日仏相互開催のほか、イッシー・レ・ムリノー市に造園技術者を派遣し、日本庭園建設のための技術指導を行いました。また、昨年、両市の高等学校間で交流協定が締結され、毎年、相互訪問を行なっています。

自治体名		
都道府県市町村	東京都	
面積	2,193.96 km ²	
人口	13,754,059 人	
姉妹（友好）都市名	パリ市	
担当者連絡先： （住所 - 電話 - -mail）	〒163-8001 東京都新宿区西新宿 2-8-1 東京都教育庁指導部指導企画課 03-5320-7772 S9000020@section.metro.tokyo.jp	

1. 自治体の地勢

東京は62区市町村（23区、26市、5町、8村）からなり、日本列島のほぼ中央に位置し、東西90km、南北25kmの細長い地形をしている。

太平洋の2つの島群である伊豆諸島と小笠原諸島もまた、東京都の行政区域である。

2. 自治体の簡単な歴史

1603年 江戸幕府が開かれる

1868年 江戸が東京と改称され、東京府が置かれる

1889年 東京市誕生（15区）

1943年 東京都制実施 東京府・市を廃止し東京都となる

3. 特徴

都内総生産は約95兆円であり、日本の国内総生産（GDP）の約20%を占める。

また、日本の外資企業の四分之三は、東京を拠点としている。

4. 主要産業及び特産品

経済活動別（産業別）GDP構成比（名目）では、サービス業21.3%、卸売・小売業19.8%、情報通信業12.2%、金融・保険業9.5%等（2014年）。また、伝統工芸品として、「江戸切子」（カットグラス）等41品目が指定されている。

5. フランスとのイベントや活動又は自治体のプロモーション

2016年、東京都とパリ市で相互観光PRを実施（都営地下鉄の車内、駅構内でのパリ市の観光ポスターの掲出、パリ市の広場・道路等での東京観光PRポスターの掲出、バス停留所のデジタルサイネージ広告の掲出など）

2017年及び2018年、パリ市と東京都の首長等が相互訪問、共同コミュニケ署名（2017年10月）

6. 自団体の取り組みで、フランスの自治体と共有できる良い事例はどのようなものがありますか？（テーマ、計画、事例など）

「パリ東京文化タンデム2018」において、東京及びパリにおいて多彩な文化イベントを実施し、両都市の文化の魅力を世界に幅広く発信するとともに、両都市の交流を促進する。

自治体名 横 須 賀 市		
都道府県	神奈川県	
市町村	横須賀市	
面 積	100.82km ²	
人口	400,205 人 (平成 30 年 5 月 1 日現在)	
姉妹（友好）都市名	ブレスト市	
担当者連絡先： (住所 - 電話 - E-mail)	横須賀市小川町 11 番地 046-822-8138 ir-mo@city.yokosuka.lg.jp	
1. 自治体の地勢 横須賀市は、神奈川県南東、三浦半島の中央部に位置し、東京から 50km 圏内に含まれる中核市です。東は東京湾、西は相模湾に面し、豊かな緑に恵まれています。三方が海に囲まれているため、温暖な気候であり、年平均気温は 16℃前後です。 2. 自治体の簡単な歴史 1853 年、アメリカのペリー提督が横須賀市久里浜に上陸したことをきっかけに日本は開国しました。1865 年、横須賀市発展の基礎となった横須賀製鉄所（造船所）のくわ入れ式が行われ、1884 年、海軍の横須賀鎮守府が設置されました。戦後、旧軍港市転換法の施行により、旧軍用財産を転活用して企業誘致を進めるなど、発展を遂げています。 3. 特徴 横須賀市は、約 70 カ国約 5,700 人の外国人が居住する国際的な都市です。NPO 法人横須賀国際交流協会と連携して、本市在住の外国人や本市を訪れる外国人が市民といきいきと触れ合い交流できる、外国人が暮らしやすいまちづくりを図っています。また、アメリカ・フランス・オーストラリア・イギリスの姉妹都市との交流事業も実施しています。 4. 主要産業及び特産品 横須賀市には、戦後、自動車や造船を中心とした製造業が立地しました。1997 年に情報通信技術の研究開発拠点として開設した横須賀リサーチパーク（YRP）には企業、大学、公的研究機関などが進出しています。また、農産物ではキャベツやダイコンなどを生産しており、水産物ではサバやイワシなどの水揚げやワカメやノリの養殖が盛んです。 5. フランスとのイベントや活動又は自治体のプロモーション 毎年 11 月中旬に、横須賀製鉄所の開設に貢献した勘定奉行小栗上野介忠順とフランス人技師フランソワ・レオンス・ヴェルニーの功績をたたえるヴェルニー・小栗祭式典を開催しています。2018 年度は、日仏交流 160 周年記念事業として、同式典のほか、市民平和のつどい（映画「紅い襷〜富岡製糸場物語〜」上映）を開催します。		

6. 自団体の取り組みで、フランスの自治体と共有できる良い事例はどのようなものがありますか？（テーマ、計画、実例など）

- ・姉妹都市との自治体間連携（交換学生の派遣・受け入れ、職員交流）

自治体名		
都道府県	神奈川県	
市町村	鎌倉市	
面積	39.53 km ²	
人口	172,194 人	
姉妹（友好）都市名	ニース市	
担当者連絡先： （住所 - 電話 - E-mail）	文化人権課 市岡 鎌倉市御成町 18 番地 10 号 0467-23-3000 Jinken-danjo@city.kamakura.kanagawa.jp	
1. 自治体の地勢 鎌倉市は神奈川県南東にあり、太平洋（相模湾）に面しています。標高 100m 前後の山々の季節ごとの豊かな自然の表情は、歴史的な寺社とともに、この街の魅力です。 2. 自治体の簡単な歴史 1180 年、武士である源頼朝が鎌倉に入り、その後、約 150 年にわたり政治・経済・文化の中心として繁栄しました。1333 年に鎌倉は攻め落とされましたが、以後約 700 年間続く武家政権の発端となりました。 3. 特徴 首都 東京から電車や車で約 60 分の立地であり、寺社や豊かな自然に恵まれ、多くの観光客でにぎわいます。 4. 主要産業及び特産品 産業就業別人口では第 3 次産業（売買、サービス）が最も多く、特に観光地であることから、飲食店と食料品小売業の比率が高いのが特徴です。特産品としては、鎌倉彫（紋様を施した木に漆を塗った伝統工芸品）の他、「鎌倉」ブランド野菜やシラスなどの水産物も人気があります。 5. フランスとのイベントや活動又は自治体のプロモーション（約 4 行） 1966 年にフランス国ニース市と姉妹都市を締結し約 50 年の交流の歴史があります。 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の、フランス国セーリングチームの事前キャンプ地であり、セーリング選手と鎌倉市民の交流事業を行います。 6. 自団体の取り組みで、フランスの自治体と共有できる良い事例はどのようなものがありますか？（テーマ、計画、事例など） 慢性的な交通渋滞が発生していることから、車で市内への流入に課金する「ロードプライシング」の検討を行っています。「世界に誇れる持続可能なまち」の実現に向け地域の課題を地域とともにテクノロジーで解決する「FabCity」宣言をしています。また、SDGs 未来都市の選定を受けるなど、都市経営に SDGs の理念を取り入れ、新しい時代に求められる様々な取り組みに積極的に挑戦しています。		

自治体名		
都道府県	新潟市	
市町村		
面積	726.45 km ²	
人口	794,459 人 (2018.5.31 現在)	
姉妹（友好）都市名	ナント市	
担当者連絡先： (住所 - 電話 - E-mail)	観光・国際交流部 国際課 新潟県新潟市西堀前通6番町 894-1 西堀6番館ビル5階 025-226-1672 kokusai@city.niigata.lg.jp	

1. 自治体の地勢

新潟市は、東京から北北西約 250 kmの位置にあります。高速道路網や上越新幹線（東京から約 2 時間）で首都圏と直結しているほか、国際港湾、国際空港を有し、国内主要都市と世界を結ぶ本州日本海側最大の交通拠点都市です。また日本海、日本最長の信濃川（367km）、阿賀野川（210km）、福島潟、鳥屋野潟、ラムサール条約登録湿地の佐潟など、多くの水辺空間に恵まれています。

2. 自治体の簡単な歴史

古くから「みなとまち」として栄え、函館・横浜・神戸・長崎と共に外国に開かれた 5 港の一つとしての長い歴史があります。以来、日本海をはさみ、対岸諸国と至近距離にある新潟市は、日本海側における重要な国際港のまちとして発展し、2007 年 4 月 1 日に政令指定都市となりました。

3. 特徴

広大な越後平野の上に位置し、国内最大の水田面積を持つ大農業型都市です。政府から農業・雇用分野の国家戦略特区の指定を受け、農地の集約や企業の参入を進めています。農産物の生産から加工・販売までを手掛ける農業の「6 次産業化」を農業と他分野の連携による「12 次産業化」に発展させ、新たな産業や雇用の場を創出し、安心・安全で暮らしやすい都市の創造を目指して取り組んでいます。

4. 主要産業及び特産品

米はもちろん、野菜、果物、畜産物、そして国内トップレベルの生産量を誇るチューリップ切花に代表される色とりどりの切花や鉢花など、農畜産物の一大産地です。最高級ブランドの日本酒製造業や米を素材とした米菓・餅・米粉スイーツなどの食品加工産業もさかんです。

5. フランスとのイベントや活動又は自治体のプロモーション

ナント市とは市民間の活発な交流を背景に、官・民が協力して様々なイベントを積極的に開催しています。文化芸術、マンガ・アニメ、踊りやスポーツを通じた若い世代の相互交流は、その好例です。

日仏友好 160 年にあたる今年（2018 年）、パリを中心にフランスで開催される日本文化・芸術の祭典「ジャポニスム 2018」の公式企画の一つ、「地方の魅力・祭りと文化」では全国各地の 7 つの祭りと 15 の文化企画が紹介され、新潟市も 4 つの文化企画で参加します。

さらに、交流分野拡大への新たな取り組みとして、親しみやすい家庭料理「おにぎり」をつくるワークショップをパリ及びナント市で開催します。コメ生産量日本一の新潟からコメ食文化を発信し、食を介した相互交流を進めます。

6. 自団体の取り組みでフランスの自治体と共有できる良い事例はどのようなものがありますか？（テーマ、計画、事例など）

2018 年 5 月から、新潟市芸術創造村・国際青少年センター(通称：ゆいぽーと)がオープンしました。この施設は海と松林に近接した環境を活かし、文化芸術活動や青少年の体験活動、国際交流活動の場として、利用者や市民の交流拠点を目指す、全国に類を見ない新潟市独自の複合施設です。アーティスト・イン・レジデンス事業として、ゆいぽーとに滞在しながら創作活動を行う芸術家等を国内外から募集し、その制作過程の公開やワークショップなど、市民との交流事業を行います。

自治体名		
都道府県	石川県	
市町村	金沢市	
面積	468.64km ²	
人口	464,427 人	
姉妹（友好）都市名	ナンシー市	
担当者連絡先： （住所 - 電話 - E-mail）	国際交流課 076-220-2075 kokusai@city.kanazawa.lg.jp	
1. 自治体の地勢（約4行） 金沢市は、日本のほぼ中央に位置します。春と夏は比較的好天の日が多い反面、冬は雨や雪の日が続きます。市内には山も海もあり、自然に恵まれた環境です。その一方で、日本海側有数の都市として広域交通網も発展しており、北陸新幹線をはじめとするJRや高速道路網の充実により、アクセスが向上しています。 2. 自治体の簡単な歴史（約4行） 約430年前、有力な武士であった加賀藩前田家の城下町が整備され、現在の金沢のまちなみの原形となりました。城のまわりには、武士の屋敷地、活気あふれる商人町、城下を守るように配された寺院群などが形成され、日本有数の城下町として栄えました。 3. 特徴（約4行） 藩政時代の美しいまちなみが現在も多く残っています。城下町として栄え、多彩な伝統工芸や伝統芸能が息づいています。さらに、世界的に評価の高い現代的建築も建設され、日本らしい情緒と新しい感性・創造性という新旧両方の魅力が楽しめるまちです。また、大学等の高等教育機関が集積し、「学都」としても知られています。 4. 主要産業及び特産品（約4行） 加賀友禅、金沢仏壇、金沢漆器、九谷焼、金箔、加賀繡など伝統工芸が今も受け継がれています。数多くの日本海でとれる海産物や藩政時代から受け継がれている加賀野菜など、自然の恵みから作られる食文化も豊かです。また、機械・金属の分野を中心に、独自の技術・技能を持つニッチトップ企業が多く立地しています。		

5. フランスとのイベントや活動又は自治体のプロモーション（約4行）

東京五輪・パラリンピックにおいて、フランス水泳連盟及びウェイトリフティング連盟との間で、代表選手の合宿を金沢で行うことを定めた協定を締結しているほか、フランスのホストタウンに登録されている。姉妹都市ナンシー市との種々の分野における45年間にわたる交流は、両市のみならず、日仏両国の関係発展にも寄与していると自負している。

6. 自団体の取り組みで、フランスの自治体と共有できる良い事例はどのようなものがありますか？（テーマ、計画、実例など）

文化とスポーツイベントの誘致や開催支援を行う「金沢文化スポーツコミッション」を設立したほか、スポーツで人とまちを元気にするためにスポーツ文化推進条例を制定するなど、スポーツ文化を本市の新しい個性と位置づけ、地域の活性化とまちの魅力の創出をはかっている。

自治体名		
都道府県	福井県	
市町村	大野市	
面積	872.43km ²	
人口	33,735 人 (平成 30 年 4 月 1 日)	
姉妹(友好)都市名	茨城県古河市(姉妹都市) 愛知県岩倉市(友好交流市)	
担当者連絡先： (住所 - 電話 - E-mail)	福井県大野市天神町 1 - 1 0776-64-4813 yusui@city.fukui-ono.lg.jp	

1. 自治体の地勢 (約 4 行)

大野市は福井県東部の内陸に位置し、県内で最も面積が大きく、その約 9 割を森林が占める自然にあふれたまちです。日本百名山の「荒島岳」をはじめとした、四方を美しい山々に囲まれた盆地で、山々に磨かれた美しい水は湧き水として、まちのいたるところに湧き出ます。わたしたちはその湧き水を「清水(しょうず)」と呼び、名水百選に選ばれた「御清水」をはじめ、多くの清水が見られる名水のまちです。

2. 自治体の簡単な歴史 (約 4 行)

天正 3 年(1575) 織田信長から一向一揆平定の命を受けて、金森長近が美濃から大野へ侵攻。一揆平定後、長近は大野を統治し、大野盆地が見渡せる亀山に城を、その東に城下町を造りました。これが現在の大野市街地の起こりです。以後今日まで、大野市は置く奥越地方の中心地として栄えてきました。

3. 特徴 (約 4 行)

大野市を表す言葉として「結の故郷 越前おおの(ゆいのくに えちぜんおおの)」があります。これは、互いに助け合う習慣や、様々な地域との絆を大切に育んできた大野市を「結」がたくさん詰まった一つの「故郷」と位置付け表現したもので、人と人とのふれあいや共に語り合うことを大切にした人情味あふれるまちです。

4. 主要産業及び特産品 (約 4 行)

豊かな自然と湧水の恩恵をうけた農林産物や、それらを食材とした料理・加工食品が豊富にあります。中でも米、里芋、まいたけなどは全国でも屈指の特産品です。

また、古くから発酵・醸造文化が栄え、醤油や酒、酢など長い歴史を持つ醸造業者が今も営んでいます。

5. フランスとのイベントや活動又は自治体のプロモーション（約4行）

大野市は、水を通じた環境保全や海外支援など、さまざまな取り組みを、世界の都市と協力して実施するため、2017年11月にフランスの各自治体を訪問しました。

中でも、フランスの広域行政組織「エロー地中海都市圏共同体」が我々の取り組みに深く共感し、2018年3月15日に、世界の水問題について連携した取り組みを実施するため「水分野での協力に関する覚書」を締結しました。

6. 自団体の取り組みで、フランスの自治体と共有できる良い事例はどのようなものがありますか？（テーマ、計画、実例など）

大野市では「水への恩返し **Carrying Water Project**（キャリング ウォーター プロジェクト）」に取り組んでいます。これまで受けてきた水の「ありがたさ」を世界に向けて「恩返し」という形で分かち合う取り組みで、その活動の一つとして、安全な水の確保にアジアで最も苦しんでいる国、東ティモールを支援し、現地に給水施設を建設するための支援しています。

今後、「水への恩返し」に賛同し、協力した取り組みを実施していただけるパートナーを広く募っています。

自治体名		
都道府県 市町村	山梨県甲州市	
面積	264.01km ²	
人口	32,055 人	
姉妹（友好）都市名	ボーン市	
担当者連絡先： （住所 - 電話 - E-mail）	山梨県甲州市塩山上於曾 1085-1 0553-32-5583 shimin@city.koshu.lg.jp	

1. 自治体の地勢

甲州市は、山梨県の北東部に位置します。内陸特有の気候で、昼夜の気温差が大きく、日照時間が長く、降水量が少なく、水はけが良いなど、果物（ぶどう、もも等）栽培に適しています。東京等都市圏からの交通の利便性も非常によい所にあります。

2. 自治体の簡単な歴史

2005 年 11 月に塩山市および東山梨郡勝沼町・大和村が合併し発足。「甲州」は山梨県の旧称である「甲斐国」の別称で、市域は甲州と名が付く産物（甲州ぶどう、甲州ワイン、甲州鞍馬石、甲州百目柿）が多く存在することから命名されました。

3. 特徴

戦国の武将、武田三代に係わる古跡が残る歴史ある地域です。また、日本固有のぶどう品種である甲州ぶどうの産地であり、ワイン醸造が最初に始まった地といわれています。広大な山岳地帯や溪谷、人々の営みの中で培われた果樹園や農村地帯、そして歴史に彩られた建造物や文化遺産などが美しく調和した魅力あふれるまちです。

4. 主要産業及び特産品

果樹栽培や観光農園を中心とした農業が主要産業となっています。特産品には、ぶどう、桃、スモモ、さくらんぼ、ころ柿、ワインなどがあります。

5. フランスとのイベントや活動又は自治体のプロモーション

姉妹都市であるボーン市への中学生派遣事業は、次代を担う中学生を派遣することで、ホームステイなどの交流を通じて国際的な視野を広げ、国際感覚を養い、国際理解を深めるとともに、国際協力関係の形成に役立っています。

また、2010 年に O I V に「甲州」が登録されたことにより、「K O S H U 甲州」ワインの E U へ輸出が可能となり、世界で評価され始めました。

6. 自団体の取り組みで、フランスの自治体と共有できる良い事例はどのようなものがありますか？

自治体名		
都道府県	長野県	
市町村	佐久市	
面積	423.99km ²	
人口	99,213 人 (平成 30 年 6 月 1 日現在)	
姉妹（友好）都市名	アバロン市	
担当者連絡先： (住所 - 電話 - E-mail)	移住交流推進課 長野県佐久市中込 3056 0267-62-3283 (直通) kouryu@city.saku.nagano.jp	

1. 自治体の地勢

佐久市は、長野県下 4 つの平の一つ佐久平の中央に位置し、市の中央を詩情豊かな千曲川が流れ、四方を浅間山、八ヶ岳、蓼科山、荒船山など雄大な山並みに抱かれています。真夏でも熱帯夜がない高燥冷涼な気候で晴天率が高く、自然環境に恵まれた四季の変化に富んだ美しい高原都市です。

2. 自治体の簡単な歴史

佐久の地名は奈良時代初期（8 世紀）の須恵器に「佐玖」と記されているのが初見です。6 世紀から 16 世紀にかけて、佐久は優れた馬を多く都に献上する馬の産地として全国に知られ、栄えました。江戸時代は中山道と佐久甲州街道の結節地として交通の要衝にありました。1867 年には 17 世紀にフランスのボーバン元帥が考案した城をモデルとして龍岡城五稜郭が造られています。

3. 特徴

佐久市は自然環境に恵まれているだけでなく、北陸新幹線、上越自動車道、中部横断自動車道が東西に走っており、首都圏等へのアクセスにも優れています。また、市立浅間総合病院や JA 長野厚生連佐久総合病院などを中心とした地域医療が充実しており、全国有数の健康長寿都市となっています。

4. 主要産業及び特産品

肥沃な土地と豊かな水に恵まれた佐久平は、良質米の産地です。日持ちの良い高原野菜、花き、りんご・桃・プルーンなどの果樹は、市場から高い評価を受けています。清流で育った鯉は「佐久鯉」として全国に知られ、米・水・気候の 3 拍子そろった天恵の環境のなかで、佐久は「酒の郷」と謳われ、11 蔵が美酒醸造を競っています。

5. フランスとのイベントや活動又は自治体のプロモーション

平成 30 年 5 月 18 日に市長を含む公式訪問団 8 名がアバロン市を訪れ、アバロン市役所への訪問やアバロン市内の視察等を行いました。

6. 自団体の取り組みで、フランスの自治体と共有できる良い事例はどのようなものがあり

ますか？（テーマ、計画、実例など）

自治体名		
都道府県	岐阜県	
市町村		
面積	10,621 km ²	
人口	2,010,698 人 (2017.10.1 現在)	
姉妹（友好）都市名	オ＝ラン県	
担当者連絡先： (住所 - 電話 - E-mail)	商工労働部観光国際局 国際交流課 岐阜市藪田南 2-1-1 058-272-8175 c11345@pref.gifu.lg.jp	

1. 自治体の地勢（約4行）

岐阜県は日本のほぼ中央に位置し、海に面しない内陸県の1つです。三大都市圏に近く、東京からは、新幹線を利用して約2時間です。県土の約8割が森林に覆われた自然豊かな県で、北部の標高3,000mを超える山々から流れ出す美しい清流が、南部の濃尾平野に広がり、海拔0mの水郷地帯などを形成するなど、地域ごとに美しい風景が広がります。

2. 自治体の簡単な歴史（約4行）

戦国時代の武将、織田信長はこの地を「岐阜」と名付け、天下統一の拠点としました。日本の中央に位置する岐阜県は、文化・交通の要衝として、日本の歴史上重要な「関ヶ原の戦い」など、古くから歴史の舞台となりました。

3. 特徴（約4行）

岐阜県では、地域ごとに特徴的な四季折々の美しい風景や伝統・文化を見ることが出来ます。ユネスコの世界文化遺産に登録されている白川郷の合掌造り集落や、ミシュランのガイドブックで三つ星の評価を受けた飛騨高山、1300年以上の歴史を誇る長良川の鵜飼など、豊かな自然、歴史と伝統に育まれた観光資源が豊富です。

4. 主要産業及び特産品（約4行）

岐阜県では、製造業が中心的な産業となっています。最先端の航空機や自動車、工作機械などの産業が多く集積するほか、刃物、陶磁器、木工・家具、紙などの伝統的な地場産業も盛んです。また、変化に富んだ自然条件を活かし、富有柿をはじめとした果物や野菜などの栽培が盛んなほか、豊かな自然に育まれた飛騨牛や鮎は岐阜県を代表する味覚となっています。

5. フランスとのイベントや活動又は自治体のプロモーション（約4行）

友好交流先であるオ＝ラン県と連携して、温泉とガストロノミーウォーキングを融合した「ONSEN・ガストロノミーウォーキング」の県内普及を目指し、岐阜県において、シンポジウムや東海初となる ONSEN・ガストロノミーウォーキングを開催しました。他にも、フランスにおいて、飛騨牛を扱うレストランや、岐阜県産品を扱うショップの展開を図っています。

6. 貴団体の取り組みで、フランスの自治体と共有できる良い事例はどのようなものがありますか？（テーマ、計画、事例など）

2008年に岐阜県と在日フランス大使館は、フランスと岐阜県との間で持続可能な交流を進めていくことに合意し、これまで「フランス・岐阜／地域交流プログラム」（観光・食・モノ、自治体交流、産業・大学研究、教育文化・若者交流）を展開しています。2018年は、同プログラム10周年であり、更に交流を深めていく予定です。

自治体名 静岡市		
都道府県 市町村	静岡県 静岡市	
面積	1,411.90km ²	
人口	709,041 人	
姉妹（友好）都市 名	カンヌ市	
担当者連絡先： （住所 - 電話 - E-mail）	静岡市葵区追手町 5 番 1 号 054-221-1508 kankou-kokusai@city.shizuoka.lg.jp	

1. 自治体の地勢

静岡市の面積は、1,411.90 km²であり、市域は東西に 50.62km、南北に 83.10km となっています。また、市は葵区・駿河区・清水区の 3 つの行政区に分かれており、葵区の面積は 1,073.76 km²、駿河区の面積は 73.05 km²、清水区の面積は 265.09 km²です。

また、人口は 709,041 人で、人口集中地区は 103.90 km²です。

2. 自治体の簡単な歴史

静岡市は、国際海洋文化の拠点として清水港の発展とともに栄えてきた旧清水市と、市街地の拡大に伴い市域を拡大してきた旧静岡市が平成 15 年に合併し、平成 17 年に政令指定都市となりました。その後、隣接する 2 つの町と合併し、人口 70 万人都市の現在の静岡市が誕生しました。

3. 特徴

静岡市は、都市としての機能や利便性を高め、地域の特性を生かした魅力的な都市空間を創出するとともに、貴重な生態系が息づく南アルプスをはじめとする自然豊かな地域特性を持っています。世界文化遺産である三保松原をはじめ、時代を代表する歴史遺産を数多く有し、週末には様々なイベントが開催されるなど求心力が高い都市として有名です。

4. 主要産業及び特産品

静岡市の産業は、清水港周辺の製造業や中心市街地の商業、サービス業などでバランスよく構成されています。水産業では駿河湾で獲れるシラスと桜えびに特徴があり、清水港のマグロの水揚量は日本一です。農作物としては、わさびやお茶などが有名です。これらの特産品は日本各地で好んで食され、日本を代表する食文化となっています。

5. フランスとのイベントや活動又は自治体のプロモーション

姉妹都市であるカンヌ市で開催される国際映画祭に合わせ、静岡市内でも映画の野外上映とマルシェを開催し、カンヌ市をはじめとしたフランス文化も紹介しています。また、平成 29 年度にはカンヌ市からの招待を受け、カンヌ国際映画祭でにぎわうカンヌ市の街中で、「静岡市のお茶」をPRコンテンツとしたプロモーション活動を行いました。

6. フランスの自治体と日本の自治体が共有できる良い事例はどのようなものがありますか？

(1) はじめに

本市は、「世界に輝く静岡」の実現をまちづくりの目標に掲げ、住む人が誇りとやすらぎを感じ、訪れる人が憧れを抱く魅力的で風格のある都市の実現を目指しています。このような都市を実現するには、都市開発を進めるだけでなく、世界に目を向けた広い視野を備え、ひいては多様性への理解や寛容性、高いコミュニケーション能力をもつ国際感覚に優れた人材の育成は不可欠です。こうした視点に立ち、本市は、グローバルな子どもたちの育成を推進しているため、その一例を紹介します。

(2) スポーツを通じた国際交流による人材育成

本市は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、台湾・スペインのホストタウンとして登録されており、各国・地域との交流を深めるための取り組みを実施しています。その取り組みの一つとして、本市は台湾との交流の懸け橋として市内の中学校の生徒を台湾に派遣し、交流の歴史を学ぶとともに、現地での取材・撮影を行い、市内及び台湾へホストタウンの取り組みや、本市と台湾の魅力を発信しました。また、各国・地域の競技チームの合宿を受け入れ、選手たちと市内の子どもたちとの交流を企画することで、多様性に寛容な国際感覚を持った人材の育成に取り組んでいます。

(3) 姉妹都市交流を通じた人材育成

本市はフランス・カンヌ市を含む4都市と姉妹都市関係にあり、相互の文化を尊重しながら、交流を続けています。特に交流の歴史の長いアメリカの姉妹都市とは、毎年青少年の交流を行い、ホームステイや学校訪問等を通して高いコミュニケーション能力を持つ国際感覚に優れた人材の育成に取り組んでいます。また、姉妹都市への教員の派遣事業では、教員の国際的な視野が広がり、子どもたちの国際性を育む授業づくりに活かされてきています。今後も、より多くの子どもたちに国際交流の機会を提供できるよう、このような姉妹都市関係にあるからこそ実現できる取り組みを推進していきます。

(4) その他の取り組み

2015年9月、国連サミットにおいて全会一致で採択された持続可能な開発目標（以下、SDGs）が掲げる「誰一人取り残さない」という理念と、本市が目指す「市民の安心や幸せ」を実現する理念には、非常に高い親和性があります。そこで、本市もこの世界共通のものさしで設定された大きな目標を「世界に輝く静岡」の実現に向けた推進力として活用することとしました。その取り組みの一つとして、社会的問題に関心が薄いと言われている若年層を中心に、SDGsの認知度を向上させるため、若者に強力な発信力を持つ日本史上最大級のファッションフェスタと、若者が大人になったことを祝う日本伝統の行事である式典「成人式」を絡めた各種啓発イベントを開催し、「SDGsは未来の自分たちの問題」という意識を高めてもらうことで、まちをSDGs一色にすることを目指しています。

(5) 結びに

このように本市では、人材の育成を通して“世界水準の都市”としてふさわしい「おもてなし」の心を磨いています。皆さまが日本を訪れる際には、ぜひ、静岡市にお越しください。魅力ある「まち」と「ひと」が皆さまを心よりお待ちしております。

自治体名		
都道府県	三重県	
市町村		
面積	5,774.41 km ²	
人口	1,807,611 人	
姉妹（友好）都市名	ブラジル・サンパウロ州 中国・河南省 スペイン・バレンシア州 パラオ共和国	
担当者連絡先： （住所 - 電話 - E-mail）	佐々木 晃 〒514-8460 三重県津市広明町 13 電話 059-224-2844 Email:kaigai@pref.mie.jp	
1. 自治体の地勢（約4行） 三重県は、日本列島のほぼ中央に位置し、東西約 80 km、南北約 170 kmの南北に細長い県土を持っています。北部は商工業が盛んな地域である一方、南部は伊勢志摩国立公園や熊野古道などの地域資源を有し、都市的機能と豊かな自然とのバランスがとれた地域となっています。 2. 自治体の簡単な歴史（約4行） 三重県は、古代より都と東国を結ぶ重要な街道であった東海道をはじめ、伊勢街道、大和街道、熊野街道など数々の街道が整備されるとともに、当時安濃津と呼ばれていた津の港は日本三津に数えられるほど栄え、人・モノ・情報の交流が盛んな土地でした。 3. 特徴（約4行） 三重県には、日本の精神文化の源流とも言える2つの聖域－伊勢と熊野が位置しています。2016年には、伊勢志摩でG7サミットが開催され、その名が世界にも知られることになりました。また、熊野古道は、2004年に世界遺産に登録されています。 4. 主要産業及び特産品（約4行） 三重県は、国内でも有数の石油化学コンビナートを有するとともに、半導体、液晶、自動車などの先端産業が発達しています。また、農林水産業では、真珠、松阪牛、伊勢えび、南紀みかん、伊勢茶などが名高く、自然に恵まれた本県ならではの特性となっています。 5. フランスとのイベントや活動又は自治体のプロモーション（約4行） 2015年、三重県はヴァルドワーズ県との間で、産業技術の高度化、貿易の拡大、投資の拡大を目的とした共同の取組を進めるため、産業連携にかかるMOUを締結しました。重点分野は航空宇宙産業となっています。 6. 自団体の取り組みで、フランスの自治体と共有できる良い事例はどのようなものがありますか？（テーマ、計画、事例など） 三重県では、本年、フランス・パリ市内において、ヨーロッパの富裕層をターゲットとして、日本に関心の高いシェフ、バイヤー、一般消費者等に「三重の日本酒」のプロモーションを実施します。		

自治体名		
都道府県 市町村	鈴鹿市	
面積	194.67km ²	
人口	200,435人	
姉妹（友好）都市名	ル・マン市	
担当者連絡先： （住所 - 電話 - E-mail）	三重県鈴鹿市神戸 1-18-18 059-382-9058 shimintaiwa@city.suzuka.lg.jp	

1. 自治体の地勢（約4行）

鈴鹿市は、日本のほぼ中央に位置します。海と山に囲まれ、豊かな自然と温暖な気候に恵まれた地域です。その一方、鉄道と高速道路網により、名古屋へ1時間程で、中部国際空港へのアクセスも容易です。また、大阪、京都へも2時間程で行くことができ、高い利便性を持ち合わせています。

2. 自治体の簡単な歴史（約4行）

鈴鹿市は、1942年12月に郡都として、2町12か村が合併し、人口約5万2千人で出発しました。戦後、軍の施設跡に自動車産業など多数の企業を誘致し、伊勢湾岸地域有数の工業都市として発展しました。

3. 特徴（約4行）

主な産業として、自動車製造業があり、輸送や部品製造などの関連産業が盛んです。また、伝統産業の鈴鹿墨や伊勢型紙があり、農業においても伊勢茶やサツキ・ツツジ等の花木や稲作などの生産が活発に行われ、農業と工業がともに成長した「緑の工都」となっています。

4. 主要産業及び特産品（約4行）

主要産業としては、自動車産業があります。また、観光資源として、鈴鹿8時間耐久ロードレースやF1グランプリが開かれて、遊園地も併設している鈴鹿サーキットがあります。また、伊勢茶、鈴鹿墨、伊勢型紙などの特産物があります。

5. フランスとのイベントや活動又は自治体のプロモーション（約4行）

2013年に友好協力都市のル・マン見本市に鈴鹿墨、伊勢茶、伊勢型紙を出展しました。今後も、日仏交流を通じて、鈴鹿市の産業などについて情報発信していきたい。

6. 自団体の取り組みで、フランスの自治体と共有できる良い事例はどのようなものがありますか？（テーマ、計画、事例など）

鈴鹿市は、日本国内の都市の中で、比較的たくさんの、そして多国籍の外国人が住む都市です。鈴鹿市では「鈴鹿市多文化共生推進指針」を定め、日本人と外国人が、互いの文化を認め合い、誰もがいきいき暮らせる多文化共生のまちづくりを進めています。

自 治 体 名		
都道府県	滋賀県	
市町村	彦根市	
面 積	196.87km ²	
人 口	112,677 人	
姉妹(友好) 都市名	米国ミシガン州アナーバー市 中華人民共和国湖南省湘潭市	
担当者連絡 先： (住所 - 電 話 - E-mail)	〒522-0063 滋賀県彦根市中央町 2-26 0749-30-6143 city-promo@ma.city.hikone.shiga.jp	

1. 自治体の地勢（約4行）

日本で一番大きな湖である琵琶湖と鈴鹿山系など、豊かな自然に囲まれているため、春夏秋冬それぞれ違った表情を楽しめます。また、彦根市は近畿と東海、北陸を結ぶ中間にあり、物流・交流拠点でもあります。彦根市はこうした優れた立地条件を活かした良好な都市環境を構築しています。

2. 自治体の簡単な歴史（約4行）

古くから交通の要衝、豊かな穀倉地帯として名を馳せていましたが、江戸時代には井伊家三十五万石の城下町としてさらに繁栄し、国宝彦根城天守をはじめとした数々の貴重な歴史遺産を今に受け継いでいます。また、明治以降も第二次産業の集積や高等教育機関の立地が相次ぎ、地域の中心都市として歩んでいます。

3. 特徴（約4行）

1937年に市制を施行し、以来、琵琶湖の東北部の中核都市として発展してきました。湖や山々に囲まれた豊かな自然に恵まれており、国宝の彦根城がある城下町として、歴史的、文化的な風情を色濃くとどめるとともに、貴重な歴史遺産が数多く存在しているまちです。

4. 主要産業及び特産品（約4行）

地場産業は仏壇、バルブ、縫製で、それぞれに地域経済に大きな貢献をしています。また、タイヤや家電製品等の工場が多く集積しています。特産物としては、古くから伝えられてきた近江牛や、琵琶湖の恵みを活かし、伝統的な製法で今も作られている湖魚料理があるほか、高い糖度が特徴的な彦根梨など、彦根市では多彩な味を楽しめます。

5. フランスとのイベントや活動又は自治体のプロモーション（約4行）

彦根市のキャラクターの「ひこにゃん」は、日本の「ご当地キャラクター」の中でも、トップクラスの人気があり、国内外に多くのファンがいます。2013年にはパリで行われた「ジャパンエキスポ」に参加し、多くの来場者と交流を深める等、国内外を問わず幅広く活動をしています。

6. 自団体の取り組みで、フランスの自治体と共有できる良い事例はどのようなものがありますか？（テーマ、計画、事例など）

国宝の彦根城天守をはじめ、数多くの保存状態の良好な重要文化財を有しています。また、昔ながらの商店街の整備を行いつつ、新しい産業の集積も行っており、歴史と伝統を生かしたまちづくりを行っています。

また、毎年、「ひこにゃん」をはじめとする多数のキャラクターが全国から集まるイベント「ご当地キャラ博」を彦根市で開催しております。

自治体名 京都市		
都道府県 市町村	京都府 京都市	
面積	827.83 km ²	
人口	1,470,544 人 (平成 30 年 7 月 1 日現在)	
姉妹（友好）都市名	パリ市	
担当者連絡先： (住所 - 電話 - E-mail)	京都市中京区寺町通御池上る 上本能寺前町 488 番地 075-222-3072 kokusai@city.kyoto.lg.jp	

1. 自治体の地勢（約 4 行）

京都市は、近畿地方のほぼ中央、京都府の南部に位置し、北、東、西の三方を山々に囲まれた京都盆地に存在します。市街地を鴨川や桂川が南下し、緑豊かな山々と清流の自然に恵まれ、夏は蒸し暑く冬の寒さが厳しい明瞭な四季の移り変わりの中で、歴史的風土が培われてきました。

2. 自治体の簡単な歴史（約 4 行）

京都は、794 年の建都以来、長きわたり日本の首都であり、政治、経済、文化の中心地として栄えました。明治期に東京への遷都以降、市民の先取の気性により、伝統を活かしながら勸業政策や教育の改革など懸命に近代化への努力を行い発展しました。

3. 特徴（約 4 行）

京都は千年を超える歴史を持つ古都である一方、年間 5,362 万人の観光客が訪れ、353 万人もの外国人観光客が宿泊する国際観光都市でもあります。また 39 の大学・短期大学が所在し、人口の約 1 割に当たる約 14 万 5 千人の学生（約 8 千人の留学生を含む）が学ぶ「大学のまち・学生のまち」であります。

4. 主要産業及び特産品（約 4 行）

市内には、伝統工芸品をはじめとして多くの伝統産業が発達している一方、世界でも最先端の技術を誇るハイテク企業が数多く活動しています。

また、和食のユネスコ無形文化遺産登録以降、日本料理、京料理への注目度は高まっており、京都市では、平成 25 年 11 月に全国で唯一「外国人の日本料理店での就労」の特例措置（特定伝統料理海外普及事業）が認められて以来これまでに、11 人の外国人料理人を受入れています。

5. フランスとのイベントや活動又は自治体のプロモーション（約 4 行）

1958 年、本市は、日仏の都市間で最も早くパリ市と姉妹都市となり、友情盟約を締結し、以来、半世紀以上にわたり、文化、芸術、スポーツ等多彩な分野での交流を深めてきました。

近年は、「京都市・パリ市共同宣言」の下、パリのデザイナーと京都の伝統工芸の職人とのコラボレーションによる商品開発及び見本市への出展、ジャパン・エキスポへの出展等、伝統産業や経済分野での交流も推進しています。

6. 自団体の取り組みで、フランスの自治体と共有できる良い事例はどのようなものがありますか？（テーマ、計画、事例など）

2018年6月、京都・パリ友情盟約締結60周年を記念し、京都市長をはじめとする京都市代表団がパリを訪問し、アンヌ・イダルゴパリ市長と両市の友好関係の一層の深化や、環境分野、持続可能な都市づくりなど、共通課題の取組に向けた交流の継続等について、相互に意見を交わしました。そして、その内容を政策協定の合意文書（共同宣言）にし、両市長及び京都市会議長が署名しました。

自治体交流基礎データシート		
自治体名	大阪府	
面積	1,899 (km ²)	
人口	883万 (人)	
姉妹(友好)都市名	ヴァルドワーズ県	
日仏交流窓口担当課	府民文化部都市魅力創造局国際課都市外交グループ	
電話番号/FAX番号	06-6210-9310/06-6210-9316	
E-mailアドレス	kokusai@sbox.pref.osaka.lg.jp	

地勢

大阪府は日本のほぼ中央部に位置し、府内には33の市、9の町、1の村に分かれています。地形は、南北に長く湾曲しており、大阪湾に向かって開けた西側以外は三方を山地に囲まれています。気候は、一般的に温和で四季の区別がはっきりしており、平年の平均気温は17.7度、年間降水量は1453.5mmです（平成28年大阪管区气象台）。

都市の歴史、成り立ち

5世紀ごろには、朝鮮半島などの大陸の文化が広まり、大阪が日本の政治・文化の中心となり、7世紀には、日本最初の中国の都にならった都城が大阪に置かれました。その後、都は奈良や京都に移りましたが、文化・通商の玄関口としての役割を担い、1583年、天下統一を成し遂げた豊臣秀吉が大阪を本拠地と定め、巨大華麗な大坂城を築城、日本の政治・経済の中心地となりました。その後、都は東京に移りましたが、大阪は「天下の台所」、つまり全国の経済や物流をとりしきる所として重要な役割を果たし、近代の大都市となる豊かな地盤がつけられました。

特徴

大阪産業の特徴としては、「中小企業の街」「合理精神・企業精神の旺盛な街」です。インスタントラーメンなどのユニークな製品やニュービジネスの多くが大阪で誕生しています。食の豊かなことでも有名で、これは、大阪には海や山があり、あらゆる自然の恵みを手近に入手できたことや「天下の台所」として日本各地から産物が運ばれてきたためです。また、ユネスコ世界遺産に登録されている人形浄瑠璃・文楽、落語や漫才など古き良き伝統を今に伝える上方芸能の発祥地でもあります。

主要産業及び特産品

産業：製薬、バイオ、新エネルギー 特産品：水ナス、泉たこ、梅ビーフ等 自転車、錫器等
今後、日仏交流において実施したいことや関心のある分野など

大阪府では、大阪・関西の強みであるライフサイエンス分野や新エネルギー分野における日仏間での情報交換や企業誘致を含めた国際経済交流に関心があります。また、若い世代の交流を深めたいと考えています。

自治体名		
都道府県	兵庫県	
市町村		
面積	8,400.96km ²	
人口	5,489,460 人 (H30.6.1 現在)	
姉妹（友好）都市名	セーヌ・エ・マルヌ県、 アヴェロン県、ノール県、 アンドル・エ・ロワール県	
担当者連絡先： （住所 - 電話 - E-mail）	神戸市中央区下山手通 5-10-1 +81(78)362-3026 Yukiko_Taru@pref.hyogo.lg.jp	

1. 自治体の地勢

兵庫県は、大都市から農山村、離島までさまざまな地域で構成されており、多様な気候と風土を通して、海水浴やスキー、温泉などの多彩なレジャーが楽しめることから、「日本の縮図」といわれています。特に、歴史や風土、産業などの違いから、摂津、播磨、但馬、丹波、淡路の個性豊かな5つの地域に分けることができます。

2. 自治体の簡単な歴史

兵庫県は1868年に誕生しました。県を構成する摂津、播磨、但馬、丹波、淡路は古くから特色のある文化を育んできました。同時に、古くから海陸交通の要衝であったことから、国内外との交流拠点として発展してきました。特に、1868年の神戸開港以来、世界への窓口として発展し、日本における国際貿易拠点だけではなく、国際文化の交流拠点としても重要な役割を果たしています。

3. 特徴

神戸、阪神、播磨地域は、県の人口の90%強を占め、産業が集積する大都市地域です。一方、但馬、丹波、淡路地域は、美しい山々、海、川など、豊かな自然に囲まれた農林水産業の盛んな地域です。また、国宝・世界文化遺産の姫路城や日本最古の温泉である有馬温泉等の観光資源にも幅広く恵まれており、多くの観光客が訪れています。

4. 主要産業及び特産品

「ものづくり県」ともいわれる兵庫県は、鉄鋼、造船、機械等の重厚長大産業で長い歴史を誇ってきましたが、他方で、広大な県土から生まれた農産物（黒豆、そば、牛肉等）や、海の恵みである水産物（松葉ガニ、タコ、アナゴ、鯛等）、時代を超えて受け継がれてきた工芸品（そろばん、刃物、焼物、杞柳細工等）から、味わい深い銘酒や銘菓にも恵まれています。

5. フランスとのイベントや活動又は自治体のプロモーション

- ・セーヌ・エ・マルヌ県：人物交流（企業研究生の受入、日仏交流コーディネーターの派遣）
- ・アヴェロン県：自然・科学交流（県立人と自然の博物館でのフェアブル展開催）
- ・ノール県：経済交流（フランス・ひょうご経済フォーラムの開催）

これに加え、今回の訪仏日程において、アンドル・エ・ロワール県のサンシール仏日協会と神戸日仏協会が姉妹提携するなど、幅広い分野で交流を行っている。

6. 自団体の取り組みで、フランスの自治体と共有できる良い事例はどのようなものがありますか？

＜平成 28 年度熊本地震への対応について＞

2016 年 4 月 14 日と 16 日に、熊本県において、それぞれ、マグニチュード 6.5（震度 7）、マグニチュード 7.3（震度 7）の地震が発生し、甚大な被害をもたらした。

関西の 2 府 6 県 4 市で構成する特別地方公共団体である関西広域連合（以下「連合」）では、「九州地方知事会との災害時の相互応援に関する協定」に基づき、各種支援を実施している。

連合では、地震発生（4 月 14 日）から 1 時間半後に先遣隊を派遣し、4 月 20 日には連合長（井戸兵庫県知事）を本部長とする災害対策支援本部を設置して支援体制を整え、8,600 人を超える支援職員を派遣した。（6 月末現在）

更に、熊本県庁に現地支援本部を設置し、物資支援を行うとともに、県内 3 か所に現地連絡所を設け、人的支援を行ってきた。特に被害の大きかった益城町に対しては、保健師・栄養士、ガレキ処理等環境対策、仮設住宅支援等、専門職員による支援チームの派遣を行った。

このほか、阪神・淡路大震災を経験した自治体として、兵庫県では、単独の支援にも力を入れており、物資支援、人的支援、義援金の募集、NPO やボランティア団体による復興支援に係る活動費助成等、様々な取り組みを実施している。

自治体名		
都道府県	兵庫県	
市町村	姫路市	
面積	534.35km ²	
人口 (平成30年5月1日現在)	531,667人	
姉妹(友好)都市名	シャンティイ城	
担当者連絡先: (住所 - 電話 - E-mail)	芝、濱田 姫路市安田四丁目1番地 kokusai@city.himeji.lg.jp (079) 287-0820	

1. 自治体の地勢 (約4行)

兵庫県南西部、瀬戸内海に面した播磨平野のほぼ中央に位置し、市域は東西約36km、南北約56kmで、総面積が約534km²の播磨地域の中心地であり、京阪神・中国・山陰を結ぶ交通の要衝となっている。気候は瀬戸内型気候に属し、四季を通じて温暖な日が多く、自然災害の比較的少ない地域である。

2. 自治体の簡単な歴史 (約4行)

古くから日本の東西交通の要衝として栄えた。明治時代以降、港や鉄道の整備とともに、工業化が進み、大正から昭和にかけて製鉄所等の重工業が進出し、人口累積と市街地が拡大した。太平洋戦争で壊滅的な打撃を受けたが、戦後復興、高度経済成長期を経て、播磨臨海工業地帯の中心である商工業都市として発展を遂げた。

3. 特徴 (約4行)

製造出荷額等が5兆円を超える播磨臨海工業地域の中心で、兵庫県内第2位の商工業と人口を擁する。高い技術力を有する産業が集積した播磨地方の中心的な役割を担い、ものづくりの拠点都市である。世界遺産・国宝姫路城や書写山圓教寺、灘のけんか祭りなどが有名な国際観光都市として、国内外から多くの観光客が訪れている。

4. 主要産業及び特産品 (約4行)

鉄鋼、化学など基礎素材型産業や、電気機器製造など加工組立型産業の大企業やそれを支える中小企業が集積している。また、古くから受け継がれてきた地場産業として、皮革、鎖、マッチ、日本酒などの特産品を生産する製造業があり、いわゆる「ものづくり」の厚い集積がある。

5. フランスとのイベントや活動又は自治体のプロモーション (約4行)

2020 年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、フランス柔道選手団が姫路市で事前合宿を行う。現在、合宿の受入協議のほか、選手団と子供たちとの交流事業を検討している。姫路市は、フランスで柔道を広めた川石酒造之助（かわいし みきのすけ）氏の出身地であり、2024 年のパリ大会見据え、末永い交流を進めていきたいと考えている。

6. 自団体の取り組みで、フランスの自治体と共有できる良い事例はどのようなものがありますか？（テーマ、計画、事例など）

姫路城とシャンティイ城との姉妹城提携（1988 年 5 月 11 日）以後、中学生を派遣し、青少年交流を行っている。また、今年度日本遺産に認定された、フランス人レオン・シスレーが設計した日本初の舗装道路「銀の馬車道」を中心とした事業を兵庫県や関係市町とともに進めている。姫路日仏交流協会など、市民と連携して取り組みを進めている

自 治 体 名		
都道府県	奈良県	
市町村	桜井市	
面 積	98.92	km ²
人 口	57,647	人
	(平成 30 年 5 月 31 日現在)	
姉妹（友好）都市名	シャルトル市	
担当者連絡先：	TEL:0744-42-9111 (内線 256)	
(住所 - 電話 -	gyoseikeiei@city.sakurai.lg.jp	
E-mail)		



桜井市

1. 自治体の地勢

桜井市は関西地区である奈良県のほぼ中央部に位置し、周辺は山々に囲まれており、面積の60%を山間部が占めています。県庁所在地の奈良市へは20km、大阪市へは40kmに位置しており、大阪市内への通勤・通学圏となっています。

2. 自治体の簡単な歴史

桜井市の歴史は古く、2～6世紀頃の宮跡や史跡、古墳などが数多く点在しており、政治・経済・文化の中心として栄えたところです。中世には神社や寺院を中心に門前町として発展し文化や商業が盛んになり、近世には宿場町として栄えてきました。

3. 特徴

本市には、三輪山を御神体とするわが国最古の神社である大神神社や桜や牡丹が美しい長谷寺、秋の紅葉が有名な談山神社、日本三文殊の一つである安部文殊院、国宝の十一面観音菩薩像で知られる聖林寺などがあります。また最近では、纏向遺跡発掘調査により大規模建築物跡が発見され、邪馬台国畿内説の有力候補地として注目されています。

4. 主要産業及び特産品

古くからは木材の集積地として栄え、特産品としては三輪素麺があります。また、最近では、市北東部の笠地域にて作られる笠そばが人気を集めています。

5. フランスとのイベントや活動又は自治体のプロモーション

第5回日仏自治体交流会議に参加した際は、本市の副市長がシャルトル市を訪問させていただきました。昨年度はシャルトル在住の市民団体に、桜井市にお越しいただき、市民レベルでの交流も活発に行っています。

6. フランスの自治体と日本の自治体が共有できる良い事例はどのようなものがありますか？

シャルトル市の化粧品産業集積地であるコスメティックバレーや、「光の祭典」による宿泊観光客の誘致、また、桜井市の旭製粉でも輸入しております小麦を中心とした大規模農業など、学ぶべき点はたくさんあり、参考にしたいと考えています。

自治体名		
都道府県	鳥取県	
市町村	三朝町	
面積	233.52 km ²	
人口	6,603 人	
姉妹（友好）都市名	ラマルー・レ・バン	
担当者連絡先： （住所 - 電話 - E-mail）	三朝町観光交流課 鳥取県東伯郡三朝町大瀬 999 番地 2 0858-43-3514 kankou@town.misasa.tottori.jp	
1. 自治体の地勢（約4行） 三朝町は、鳥取県のほぼ中央に位置し、町総面積の約90%を山林が占める自然豊かな町です。山々が急峻で谷が深く、町内のいたる所で美しい溪谷を見ることが出来ます。中国山地に影響を受けた日本海型気候に属し、冬には平野部でも積雪が見られます。 2. 自治体の簡単な歴史（約4行） 三朝町は、昭和28年11月に5つの村が合併して誕生しました。ラジウム（ラドン）温泉で有名な三朝温泉は850年以上前に発見されたといわれており、豊富な温泉資源や広大な山林資源をもとに旅館サービス業や農林業を中心に栄えてきました。 3. 特徴（約4行） わが国最古の神社本殿形式の建造物である国宝・投入堂（なげいれどう）を擁する、山岳仏教の霊場三徳山（みとくさん）や世界屈指のラジウム含有量を有する三朝温泉など豊かな自然と観光資源に恵まれ、平成27年に日本遺産に登録されました。 4. 主要産業及び特産品（約4行） 三朝米、梨、神倉大豆 三朝みすと（化粧水） 5. フランスとのイベントや活動又は自治体のプロモーション（約4行） ラジウムの発見者である偉大な科学者マリー・キュリーの遺徳を讃える「キュリー祭」を開催し、今年で62回目を迎えます。これは、三朝温泉のラドン含有量が世界有数であることから始まったもので、毎年、フランス大使館から来賓をお迎えするなど夏の一大イベントとして定着しています。 6. 自団体の取り組みで、フランスの自治体と共有できる良い事例はどのようなものがありますか？（テーマ、計画、事例など） 三朝温泉では現在、旅館と町内の病院とが連携し、温泉を活用した鉱泥湿布や温泉療法等により、三朝の自然を満喫しながら温泉で自然治癒力を高める「現代湯治」の取り組みを進めています。		

自治体名		
都道府県	岡山県	
市町村	高梁市	
面積	546.99km ²	
人口	30,997 人 (平成 30 年 5 月 31 日現在)	
姉妹(友好)都市名	アメリカ合衆国 オハイオ州トロイ市	
担当者連絡先 :	岡山県高梁市松原通 2043 0866-21-0208	
(住所 - 電話 - E-mail)	senryaku@city.takahashi.lg.jp	

1. 自治体の地勢 (約 4 行)

岡山県の中西部に広がる吉備高原に位置しており面積は 546 km²で、市域の 80%は山林原野です。高原部では昼夜の温度差が大きく、年間を通して霧がよく発生します。市の中央部を南北に貫流する高梁川と、それに流れ込む成羽川や有漢川の流域に市街地が広がり、その他は、急峻な傾斜部や起伏が激しい高原部に集落が点在しています。

2. 自治体の簡単な歴史 (約 4 行)

2004 年に旧高梁市と周辺の 4 町が合併し、現在の高梁市が誕生しました。高梁市は、古来「備中の国」の中核を占め、近世では備中松山藩の城下町として発展。往時をしのばせる備中松山城は国の重要文化財に指定されています。また、国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されている吹屋の町並みは、銅山とベンガラ製造で繁栄した当時を彷彿とさせるなど、市内には文化財が点在しています。

3. 特徴 (約 4 行)

太平洋と日本海を結ぶ鉄道、国道や高速道路などの道路網が整備されており、車で約 40 分のところには岡山空港があります。こうした交通の利便性や豊かな自然環境、脈々と受け継がれた歴史文化などの地域の特性を背景に、大学などの高等教育機関が集積しており、地域や行政、民間企業などと連携した学園文化都市づくりを推進しています。

4. 主要産業及び特産品 (約 4 行)

主要産業：農業、自動車部品などの製造業
特産品：ブドウ、トマト、桃、お茶、紅茶、鮎

5. フランスとのイベントや活動又は自治体のプロモーション (約 4 行)

2018 年 5 月、高梁市はリヨン市のアンペール高校と教育交流協定を締結し、2019 年から高校生の相互派遣を行うことにしています。

6. 自団体の取り組みで、フランスの自治体と共有できる良い事例はどのようなものがありますか？ (テーマ、計画、実例など)

現在のところありません。

自治体名 高松市		
都道府県 市町村	香川県 高松市	
面積	375.52km ²	
人口	419,705人 (2018年6月1日現在)	
姉妹(友好)都市名	トゥール市	
担当者連絡先： (住所 - 電話 - E-mail)	観光交流課 都市交流室 高松市番町一丁目8番15号 (087) 839-2197 kokusai@city.takamatsu.lg.jp	

1. 自治体の地勢

高松市は、四国の北東部、香川県の中央に位置し、北は、日本で最初に国立公園に指定された瀬戸内海に面し、南は、讃岐山脈まで続く、変化に富む自然・地理的環境を保有しています。古くから四国の玄関口として繁栄し、便利な都市機能とのどかな田園風景がコンパクトに調和したまちです。

2. 自治体の簡単な歴史

「高松」は、1588年に豊臣秀吉の家臣生駒親正が玉藻浦に居城を築き、高松城と名付けたことに由来し、以後270年余り城下町として栄えました。1890年に市制を施行し、1999年には中核市に移行しており、様々な面において、瀬戸内海との深い関わりの中で、県都として、また、四国の中枢管理都市として発展を続けてきました。

3. 特徴

世界の宝石と称される瀬戸内海に面し、風光明媚な自然とまちのたたずまいが、ほどよく調和している海に開かれた都市です。市内には、国の特別名勝に指定されている「栗林公園」や日本三大水城の1つである高松城跡「玉藻公園」、源平合戦の古戦場「屋島」など、数多くの景勝地があります。

4. 主要産業及び特産品

代表的な地場産業には、漆器、家具、石製品等があり、特に、漆器は、長い歴史と伝統に支えられた産業で、国の伝統的工芸品の指定を受けるなど全国に誇れる品質を有しています。また、国内生産量の80%を占める黒松などの盆栽や、全国ブランドの讃岐うどんなどの特産品も豊富です。

5. フランスとのイベントや活動又は自治体のプロモーション

1988年に、トゥール市と姉妹都市提携をして以来、職員や公式訪問団の相互派遣などの人的交流を継続的に実施しています。特に2009年からは、食育の分野での交流を実施するとともに、2016年には「史跡高松城跡玉藻公園、ヴィランドリー城、トゥール市3庭園連携協定」を締結するなど、人的交流から教育・経済・文化などの分野へと交

流を発展させ、市民レベルでも交流の輪を広げています。

6. フランスの自治体と日本の自治体が共有できる良い事例はどのようなものがありますか？

2016年10月5日、第5回日仏自治体交流会議に合わせて、トゥール市植物園に日本庭園が開園されるとともに、史跡高松城跡玉藻公園、ロワールの古城の一つであるヴィランドリー城、トゥール市3庭園の3者間で、城と庭園の管理などについての知識・技術の共有及び相互の交流を通して理解と友好を深めることを目的とした連携協定を、ヴィランドリー城において締結しました。

2017年には、連携協定締結1周年を記念して、9月にトゥール市において「庭園におけるアール・ド・ヴィーヴル（生活芸術）」を、10月に玉藻公園において、「マルシェ・ド・タマモ2017」を官民一体となって開催し、双方で広く市民に対し、城と庭園のPRをしました。

自治体名		
都道府県 市町村	福岡市	
面積	343.39 km ²	
人口	1、578、920 人 (2018 年 9 月 1 日時点)	
姉妹（友好） 都市名	ボルドー市	
担当者 連絡先 (住所 - 電話 - E-mail)	国際交流課 福岡市中央区天神 1-8-1 092-711-4023 kokusaikoryu.GAPB@city.fukuoka.lg.jp	

1. 自治体の地勢（約 4 行）

福岡市は、全国で 5 番目の人口を擁する政令指定都市。九州の北岸に位置し、福岡空港から飛行機で釜山まで 50 分、上海まで 90 分、博多港から高速艇で釜山まで 3 時間弱で結ばれる日本で一番アジアに近い大都市です。福岡を中心に半径 1,000km の円を描くと、東京・大阪に加え、上海・ソウルなど東アジアの大都市の多くがその内側に含まれます。

2. 自治体の簡単な歴史（約 4 行）

朝鮮半島や中国大陆に近いという地の利に恵まれた福岡市のあゆみは常に「海」とともにあり、古くから日本とアジアを結ぶ国際交流拠点として発展してきました。例えば、うどんやそばをはじめとして、文化や技術等は、アジアから福岡に入り、日本全国に広がっていきました。

3. 特徴（約 4 行）

海に恵まれた歴史や文化、豊かな自然環境と充実した都市機能、多彩な人材など、さまざまな財産に恵まれ、世界の中でも住みやすいと評価されている都市です。2018 年度の市民意識調査では 97.1%が「住みやすい」と回答し、3 年連続で過去最高を記録しています。

4. 主要産業及び特産品（約 4 行）

主要産業：第 3 次産業が約 9 割を占め、サービス業（25.4%）、卸売・小売業（19.3%）の割合が大きいのが特徴。

特産品：博多織、博多人形、博多ラーメン、明太子など

5. フランスとのイベントや活動又は自治体のプロモーション（約 4 行）

2015 年 福岡市博物館で「ボルドー展」開催

2016 年 福岡市にボルドーワインバー「オ・ボルドー・フクオカ」オープン

2016 年 福岡・ボルドー姉妹都市交流協力計画(2017 年-2019 年)締結

2017 年 ボルドー市とスタートアップに関する MOU を締結

ボルドー市にて Fukuoka Promotion 実施

6. 自団体の取り組みで、フランスの自治体と共有できる良い事例はどのようなものがありますか？（テーマ、計画、実例など）

姉妹都市という特別な関係と両市の強みを生かしたボルドー市との協力計画（ワインや食に関すること、スタートアップに関する項目など経済振興分野を柱としている）

自治体名		
都道府県 市町村	長崎市	
面積	406.4 km ²	
人口	424,095 人	
姉妹（友好）都市名	ヴォスロール村	
担当者連絡先： （住所 - 電話 - E-mail）	国際課 長崎市桜町 2-22 095-829-1113 kokusai@city.nagasaki.lg.jp	
1. 自治体の地勢（約 4 行）		
長崎市は、日本の最西端に位置しています。周囲が山と海に囲まれており、市の形状は全国的にも数少ない「すり鉢」状となっています。急な坂や階段が多い街ですが、山の斜面に建てられた家屋等が放つ明かりは、夜になると美しい夜景を作り出します。		
2. 自治体の簡単な歴史（約 4 行）		
長崎市は、古くから外国への玄関口として発展してきた港湾都市です。鎖国時代には、国内唯一の貿易港として中国やオランダを通じて海外との交流を行ってきた街です。また、長崎市は広島市とともに原子爆弾による破壊を経験した世界で 2 つしかない都市です。		
3. 特徴（約 4 行）		
歴史的背景をもとに、異国文化を織り交ぜた独特の文化が発展しました。キリスト教徒も多く、市内のいくつかの教会はその歴史的価値が認められユネスコの世界文化遺産に今年登録されました。また「007 スカイフォール」のデッドシティのモデルにもなった端島（軍艦島）なども 2015 年に世界文化遺産として登録され、2 つの世界遺産がある街です。		
4. 主要産業及び特産品（約 4 行）		
造船業、観光業、水産業 ちゃんぽん、皿うどん、カステラ、びわ、水産加工品		
5. フランスとのイベントや活動又は自治体のプロモーション（約 4 行）		
2018 年に長崎市とカルヴァドス県ヴォスロール村との姉妹都市提携は 40 周年を迎えました。長崎市および市議会の代表者からなる公式訪問団や市民訪問団が現地を訪問し友情を深めました。		
6. 自団体の取り組みで、フランスの自治体と共有できる良い事例はどのようなものがありますか？（テーマ、計画、実例など）		
「長崎〇〇LOVERS」プロジェクト 2017 年 10 月から取り組んでいるプロジェクトで、市民一人ひとりが持つ「長崎のここがスキ」という声を形にして発信する取組みを進めています。		

自治体名 熊本市		
都道府県	熊本県	
市町村	熊本市	
面積	390.32km ²	
人口	739,603 人 (平成 30 年 7 月 1 日現在)	
姉妹(友好)都市名	エクサンプロヴァンス市	
担当者連絡先： (住所 - 電話 - E-mail)	熊本市中央区手取本町 1-1 096-328-2070 kokusai@city.kumamoto.lg.jp	

1. 自治体の地勢

熊本市は、東は風光明媚な阿蘇山を臨み、西は有明海に面し、清らかな地下水や豊かな緑などの自然環境に恵まれた九州中央の拠点都市です。気候は内陸盆地的で寒暖の差はありますが、年平均気温は 16℃前後と温暖です。

2. 自治体の簡単な歴史

肥沃な土壌と豊かな有明海に恵まれた熊本市は、古代から人が定住し、8 世紀には肥後国の国府が置かれました。1588 年に封ぜられた加藤清正が、まちのシンボルである熊本城を築城し、治水や干拓などの土地開発を行ったことにより、現在までの城下町の発展の礎が築かれました。明治 22 年(1889 年)の市制施行以降、合併をはじめとする市域の拡大等によって発展してきた熊本市は、2012 年 4 月に政令指定都市に移行しました。

3. 特徴

熊本市は、熊本城を中心とした城下町として発展し、20 世紀以降は、九州の中央に位置する地理的優位性から、国の出先機関が数多く設置されてきました。現在は人口約 74 万人、近隣市町を含む都市圏では 100 万人を超える人口を有し、生活用水の 100%を地下水でまかない、大学や医療機関等が数多く立地する暮らしやすい都市です。

4. 主要産業及び特産品

市の産業では、清冽で豊富な地下水が育む柑橘類、スイカやナス、また、有明海で生産される高品質のノリの生産など多様な農水産業が挙げられます。また、自動車関連企業や半導体関連企業が数多く立地する一大集積地となっています。

5. フランスとのイベントや活動又は自治体のプロモーション

1992 年、熊本市在住の能楽師・狩野琇鵬(かの しゅうほう)氏がエクサンプロヴァンス市に総檜の能舞台を寄贈したことを契機として、民間・行政双方のレベルでの交流が 25 年以上にわたって行われています。また、2013 年 2 月にエクサンプロヴァンス市と交流都市協定を締結し、7 月には、パリのジャパン・エキスポに熊本県と共同でブースを出展し、市のプロモーションを行いました。2016 年 10 月には、フランス上院仏日友好議員連盟の

招待を受け、大規模スポーツイベントと地域の関わりについて大西市長が講演をし、意見交換を行いました。

6. フランスの自治体と日本の自治体が共有できる良い事例はどのようなものがありますか？

- ・公共交通を機軸とした熊本型のコンパクトなまちづくり
- ・歴史的遺産（熊本城）の復元を生かしたまちづくり

※熊本地震後、シビックプライドに後押しされた復興、観光振興に向けた取り組み（今後）。

自治体名		
都道府県	熊本県	
市町村	合志市	
面積	53.19km ²	
人口	61,740 人	
姉妹（友好）都市名	なし	
担当者連絡先： （住所 - 電話 - E-mail）	熊本県合志市竹迫 2140 番地 096-248-1813 kikaku@city.koshi.lg.jp	
1. 自治体の地勢（約 4 行） 日本の南西部、九州の真ん中あたりに位置し、熊本市北東部と隣接（北緯 32 度、東経 130 度）。面積は 53.19 km²。市の北部地域には阿蘇の火山灰が降り積んだ「黒ボク」と呼ばれる土壌に覆われた広大で豊かな農地が広がる。南部地域には住宅地と商業地が国道・県道・鉄道沿線に形成されている。 2. 自治体の簡単な歴史（約 4 行） 地名「こうし（かはし）」の由来は古代に遡り、日本書紀にも記述がある。713 年、詔により「合志」の字が定着。中世においては武士の菊池氏・合志氏が活躍する中心地だったが、現在の自治体の原型（合志村・西合志村）ができたのは 19 世紀後半である。その後、1966 年に 2 村が町となった後、2006 年 2 月に 2 町が合併し、現在の合志市が成立した。 3. 特徴（約 4 行） 合志市は「暮らしやすさ」で知られる。上水道は 100%整備され、その水源は水質の良さと水量の豊かさで有名な阿蘇山である。人口に対して医療機関が充実しており、空港・高速道路・鉄道へのアクセスも良好。生活コストが比較的安く、地方都市としては珍しく人口が増加中の自治体である。 4. 主要産業及び特産品（約 4 行） 基幹産業は農業であり、特産品はスイカ、イチゴ、アスパラガス、ぶどう、マンゴー、コメである。畜産業、特に酪農も非常に盛んである。一方、全産業における売上高は製造業が 75%以上を占めており、半導体関係製品や二輪の部品、四輪の部品を主に製造している。 5. フランスとのイベントや活動又は自治体のプロモーション（約 4 行）		

合志市の酪農業者・養鶏業者が毎年フランスを訪問し、オメガ3脂肪酸の利活用に関する農業技術を学び、ブルーblankール協会（健康のための農業を目指すフランスの非営利団体）の認証も得ている。また、フランスに本社がある日本エア・リキード社の熊本営業所も本市にあり、フランス在住経験のある人やフランス人の友人を持つ住民もいるなど、様々な形でフランスとの縁が深い。

6. 自団体の取り組みで、フランスの自治体と共有できる良い事例はどのようなものがありますか？（テーマ、計画、事例など）

健康と環境に配慮した農業について。

農業の社会福祉プログラムへの活用について。

自治体名		
都道府県	熊本県	
市町村	相良村	
面積	94.54km ²	
人口	4,484人 (平成30年6月末日現在)	
姉妹(友好)都市名	サン・ヴァランタン村	
担当者連絡先： (住所 - 電話 - E-mail)	相良村大字深水2500番地1 福山 0966-35-0211 fukuyama-s@sagara.kumamoto.jp	

1. 自治体の地勢 (約4行)

相良村は、熊本県の南部に位置し、人吉球磨盆地のほぼ中央にあり、村の中央を12年連続水質日本一の清流「川辺川」が北から南にかけて貫流している。北部は、標高400m～1,300mの山岳が連なる山林地帯、南部は平野が拓けた農耕地帯を形成している。

2. 自治体の簡単な歴史 (約4行)

昭和31年9月1日川村と四浦村が合併し、新村名「相良村」として現在に至っている。

また、相良村を含む人吉・球磨地域は、鎌倉時代から明治維新までの約700年間にわたり相良氏が治めた「日本でもっとも豊かな隠れ里」として日本遺産にも認定されている。

3. 特徴 (約4行)

相良村は、「ハート」の形をした村で、村名にちなみ「相性が良くなる村」といわれており、「愛」をテーマにしたむらづくりを行っている。村内には、出会いや絆の縁を深める「恋人の丘」や「夫婦橋」などのスポットがあり、大切な人と素敵な時間をゆっくりと過ごすことができる「愛の村」である。

4. 主要産業及び特産品 (約4行)

相良村の主要産業は、豊かな自然環境を活かした農業である。茶・米・メロン・イチゴなどが生産され、特に茶は、熊本県内一の生産量と面積を誇り、村を代表する特産品である。また、日本一の水質を誇る清流「川辺川」は、鮎釣りのメッカとして知られ、毎年大勢の釣り人が全国からやってくる。

5. フランスとのイベントや活動又は自治体のプロモーション (約4行)

毎年2月には、ヴァランタン村と同じ日に、日仏合同イベントとして「ヴァランタン祭(ヴァレンタイン祭)」を開催し、村の魅力を世界に発信している。

6. 自団体の取り組みで、フランスの自治体と共有できる良い事例はどのようなものがありますか？(テーマ、計画、事例など)

ヴァランタン祭の開催を通して、日本とフランスの魅力を幅広くPRすることができ、新たな商品開発や関係人口の創出にもつながっている。

自治体名		
都道府県	鹿児島県	
市町村	鹿児島市	
面積	547.55km ²	
人口	596,998人	
姉妹（友好）都市名	—	
担当者連絡先： （住所 - 電話 - E-mail）	総務局市長室国際交流課 福 はつ代 鹿児島市山下町11番1号 +81-99-216-1131 intlaff@city.kagoshima.lg.jp	

1. 自治体の地勢（約4行）

鹿児島市は、九州の南端、鹿児島県本土のほぼ中央部にあって、東経 130° 23′ から 130° 43′、北緯 31° 17′ から 31° 45′ に位置。鹿児島湾をはさんで桜島を含んだ東西約 33 km、南北 51 kmの風光明媚な都市。鹿児島のシンボルとして知られる桜島（1,117m）は、市街地から約 4 kmの対岸にあります。

2. 自治体の簡単な歴史（約4行）

鹿児島市は、古くから島津氏の城下町として栄え、大陸や南洋諸島に近いという地理的特性から、琉球（現在の沖縄）を中継地として早くから貿易が活発に行われ、ヨーロッパ文化などの門戸の役割も果たしてきています。「明治日本の産業革命遺産」の世界文化遺産登録でも知られるように、19 世紀の中頃には、ヨーロッパの機械文明を積極的に取り入れるなど、わが国の近代文明の発祥地となりました。

3. 特徴（約4行）

鹿児島市は、明治維新に象徴される個性豊かな歴史をはじめ、錦江湾と桜島という世界に誇れる自然景観、焼酎や黒豚に代表される食など多彩な魅力に恵まれているとともに、都市機能が高次に集積された南九州の中核都市として発展を遂げています。

4. 主要産業及び特産品（約4行）

鹿児島市の主要産業は、事業所数・従業員数ともに、「卸売・小売業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「医療、福祉」を中心に構成。鹿児島の特産品としては、1300 年の歴史を有し、世界一精緻なかすりと言われる本場大島紬をはじめ、貫入（ひび）の入った象牙色の生地に華やかな絵付けを施し繊細かつ優美な風合い持ち味で、1867 年に開催されたパリ万博に出品し、当時、高い評価を得たことでも知られる薩摩焼などが挙げられます。

5. フランスとのイベントや活動又は自治体のプロモーション（約4行）

2018 年 1 月、パリで行われたヨーロッパ最大級の国際見本市「メゾン・エ・オブジェ」に、大島紬や薩摩焼などを出展し、鹿児島をPRしました。

また、日系企業が多く、欧州唯一の日本学研究所があるなど日本とつながりの深いアルザス

地方を訪れ、ストラスブール市と今後の交流に向けた意見交換を行いました。

6. 自団体の取り組みで、フランスの自治体と共有できる良い事例はどのようなものがありますか？（テーマ、計画、実例など）

鹿児島市では、少子高齢化の進行や人口減少局面への移行を踏まえ、コンパクトな市街地の形成や公共交通を活用したまちづくりを進めているところです。フランスの自治体においては、このような取組の先進事例を数多く有しており、これらの都市との交流を通じて、本市のまちづくりの参考にしていきたいと考えております。

また、鹿児島市は、イタリア・ナポリ市やオーストラリア・パース市など本市の姉妹友好都市等に青少年を派遣し、次代を担う青少年の国際性を涵養する青少年の翼事業を実施しておりますので、フランスの都市に青少年を派遣できればと考えており、青少年の交流を通じて両市の友好の絆が一層深まり、観光交流、文化交流など、交流の輪をさらにひろげていければと思っております。

 エクサンプロヴァンス¹市役所		
地域圏	プロヴァンス・アルプ・コートダジュール (Provence Alpes Côte d'Azur)	
県	ブッシュ・デュ・ローヌ (Bouches-du-Rhône)	
面積	18 600 ヘクタール	
人口	146 192 人	
姉妹都市/交流都市	交流都市: コーラルゲープルズ、フィラデルフィア (以上米国)、熊本市 (日本) 協力協定締結都市: バールベック (レバノン)、バマコ (マリ)、ウジダ (モロッコ)、ペーチ (ハンガリー) 友好協定締結都市: バトンルージュ (米国) 姉妹都市: アシュケロン (イスラエル)、パース (英国)、カルタージュ (チュニジア)、コインブラ (ポルトガル)、グラナダ (スペイン)、ペルージャ (イタリア)、チュービンゲン (ドイツ)	
担当者と連絡先: (住所、電話、Eメール)	ミッシェル・クエットムール女史 (Madame Michèle Couëtmeur) 国際誘致/協力事業部 (Direction Attractivité et Coopération internationale) 住所: エクサンプロヴァンス市役所 CS 30715、フランス、エクサンプロヴァンス市、特別配達番号 1、郵便番号 13616 (Hôtel de Ville CS 30715, 13616 Aix-en-Provence Cedex 1, France) 電話: +33-4-42919930 Eメール: couetmeurm@mairie-aixenprovence.fr	

¹ 原文は Aix-en-Provence で、「エクス・アン・プロヴァンス」と字訳できるが、本文では読みやすさと発音の類似性を考慮し「エクサンプロヴァンス」と記す。

1. 当該地方自治体の地理的位置と環境（約4行）

- マルセイユ・プロヴァンス国際空港から 20 キロメートル
- 超高速列車 TGV のエクサンプロヴァンス駅から 11 キロメートル（パリから 3 時間、リオンから 1 時間）
- マルセイユ港から 20 キロメートル

エクサンプロヴァンスは恵まれた地中海気候である。エクサンプロヴァンス市は、海、起伏に富んだリュブロン地方、そしてアルプス山脈に囲まれた地域の中央に位置する。

エクサンプロヴァンスの市に固有の特徴は、都市地域でも田園でも、豊かな自然に囲まれた恵まれた環境（セザンヌの不朽の名作で有名になったヴィクトアール山が聳える）をそのまま生かし、質の高い生活が送れることである。

2. 当該地方自治体の歴史の要点（約4行）

- 2 千年以上前の都市の遺跡（ローマ時代）
- 数百年前の大学（600 年）
- 歴史的な裁判所
- 豊富な自然地帯

エクサンプロヴァンスはプロヴァンス地方の歴史的な中心地である。泉が多く湧き出る水の都であり、ゾラやセザンヌのような著名な芸術家が多数この地で作品の着想を得、この地に居を構えた。

3. 特徴（約4行）

- エクサンプロヴァンスは 3 万 6000 人の学生を抱える（そのうちの 14 %が留学生）。
- 多くの旅行者を迎える（年間 150 万人の旅行社が訪れ、年に 138 万 6000 泊する）。
- エックス地方には 5 万 3000 企業が、3000 ヘクタールの経済活動区で活動する。
- 中小企業 350 社以上が優秀企業認定マークを獲得するという革新を促すエコシステムがある。
- ザ・キャンプ（The Camp）：未来テクノロジーとその実用のために作られたハイテク基地が設置されている。
- 類まれなる文化集中地域（音楽とダンスの当該地域圏芸術院、国立振り付けセンター、プロヴァンス大劇場、本の都市）国際歌劇芸術フェスティバルと復活祭フェスティバル（クラシック音楽）は国際的に非常に有名である。

4. 主な活動分野－専門分野または地方特産物（約4行）

日本資本の 12 企業がエックス地方に進出：Atlanta Nisseki Claf（アトランタ・ニッセキ・クラブ）；Canon France（キャノン・フランス）；Daikin Airconditioning France（ダイキン・エアーコンディショニング・フランス）；Danka France（ダンカ・フランス）；FRP Services Europe（FRP サービスイズ・ヨーロッパ）；Jeol（ジェオル）；JX Nippon Anci Europe（JX ニッポン・エーエヌシーアイ・ヨーロッパ）；Konika Minolta（コニカ・ミノルタ）；Ricoh France（リコー・フランス）；Orbite（オルビット）；Lucite International France（リュシット・インターナショナル・フランス）；Disco Hi-Tec France（ディスコ・ハイテク・フランス）；Fujinon（フジノン）；Adeka Palmarole（アデカ・パルマロール）；Dainippon Screen Electronics France（ダイニッポン・スクリーン・エレクトロニクス・フランス）；Toppa Photomasks France（トッパン・フォトマスクス・フランス）；NBS Technologies（NBS テクノロジー）；Ce2a（Cie européenne Afrique Asie コンパニー・ヨーロッパ・アフリック・アジア）；Tsurumi Pompes location（ツナミ・ポンプ・ロケーション）

エクサンプロヴァンス市では、企業および研究活動が活発で（5 つのテーマ別特別産業地区、革新を遂げる 350 中小企業、2 つの経済活動区、1 つの環境のための最先端技術研究センター）、これにより雇用が創出され、この地域の競争力を維持する。主な領域は、諸エネルギー産業、航空産業、環境産業、マイクロエレクトロニクス、情報処理である。

これ以外の経済活動を推進する部門は、観光事業、商業、職人技術、企業へのサービス事業、農業である。地域特産物としては、原産地統制名称 AOC と認定される 4 種のワインと 3 種のオリーブオイルが挙げられる。加えて、「レ・カリソン・デクス」と呼ばれる菓子が有名である。

5. 日本に関わるイベントと活動、または当該地方自治体の広告促進活動（約4行）

能楽師狩野丹秀氏によって能舞台が寄贈されてから 20 年に渡り主に能楽の分野で文化交流が行われ、2013 年初めに、熊本市とエクサンプロヴァンス市が交流都市となった。これに伴い、両自治体が相互に繁栄を促すという方針に基づき、観光事業・文化・芸術・経済・教育・研究・都市開発・自治体行政など様々な分野が交流の対象となる。2015 年には能舞台寄贈 20 周年を記念し、エクサンプロヴァンスで「日本年」が企画された。両市は、2018 年と 2019 年に「両地域への誘致業務のための地方自治体間共同事業」という名の計画を実施し、両市の経済・文化・大学・種々の機構の担い手を再結集する。同計画は、フランスのヨーロッパ・外国事業省から資金援助を受ける。

6. 例として、どのようなイベントをフランスと日本の自治体と共同で行いたいのか？（テーマ、計画、体験など）

誘致のために総合的な運動の展開：国内・海外での知名度拡大と自治体業務の質の向上という 2 つの目標にそって、共同計画に様々な分野の活動家を動員する。

*Fiche de présentation des collectivités participantes aux
6e Rencontres franco-japonaises de la coopération décentralisée*

自治体名 オータン (AUTUN)		
州 県	ブルゴーニュ ソーヌ＝エ＝ロワール	
面 積	1336km ²	
人口	15000 人	
姉妹（友好）都市名	- インゲルハイム・アム・ライン(ドイツ) 1963 年 - スティープニッジ(英国) 1975 年 - 上記 2 都市とオータン市との 3 都市姉妹提携 1975 年 - 川越(日本) 2002 年 - アレバロ(スペイン) 2005 年	
担当者連絡先： (住所 - 電話 - E-mail)	市長室 電話：03 85 86 80 66 メール： cabinetdumaire@autun.com	ジルベール・ダルルー 電話：06 29 87 72 73 メール： gilbertdarroux@yahoo.fr

*Fiche de présentation des collectivités participantes aux
6e Rencontres franco-japonaises de la coopération décentralisée*

1. 自治体の地勢（約 4 行）

ブルゴーニュの中央に位置するオータンはボヌから 30 分、ディジョンから 1 時間。TGV モンシヤナン駅（オータンから 30 分）からはパリまで 1 時間 30 分というアクセスの良さです。

2. 自治体の簡単な歴史（約 4 行）

オータンは芸術と歴史の街に認定されており、2000 年以上も昔の他に類を見ない歴史的文化遺産を有しています。この時代、ガリア人ハエドゥイ族の都市だったオータン（町の古名アウグストドゥヌム）は、ローマとの軍事協定を締結しました。

今なお 10 もの遺跡を所有しているオータンは、ロワール北部で最も見所があるガロ・ローマ時代の町です。

3. 特徴（約 4 行）

中世キリスト教徒が建立したサン・ラザール大聖堂が有名です。クリュニー様式で建立は 1120 年に始まりました。彫刻家ギスレベルトゥスが製作した著名な最後の審判、イヴの誘惑、エジプトへの逃避、マギの眠りが見所です。大聖堂を取り囲む付近の地区（les hauts quartiers）は狭い小道や木造家屋が立ち並び、当時の面影を残していて趣があります。

4. 主要産業及び特産品（約 4 行）

- 製造業や約 30 の下請け企業
- プラスチック製品を扱う専門企業のエコロジー産業の発展
- 近接地モルヴァン山地での林業の拡大
- コミューン共同体規模の農業（従事者 800 名、牧草地 39000 ヘクタール、牛 65000 頭、557 以上の農場）

5. 日本とのイベントや活動又は自治体のプロモーション（約 4 行）

ユルスリーヌ国際文化センターが諸国間の芸術文化交流、特にプレスコ壁画芸術の促進を図るため 2000 年に設立されました。代表者であり創設者の高橋久雄氏は 1936 年に日本で生まれ、壁画修復と保存の資格を取得しています。

川越市の青少年団体の旅行（2008 年）や代表団の訪問（2013 年）など過去 10 年に数々の交流がなされました。

6. フランスの自治体と日本の自治体が共有できる良い事例はどのようなものがありますか？（テーマ、計画、事例など）

別企画及びイベント開催を目的としたオータン市の諸施設との接触

- ボナパルト高校の芸術及び文化遺産クラスとの交流を確立
- 集合住宅地区の小学校との交流
- ユルスリーヌ国際文化センターへの学生受け入れの継続
- フランス文化教育センター（マルコ・ポーロ学院）への日本の若者及び学生の受け入れ

*Fiche de présentation des collectivités participantes aux
6e Rencontres franco-japonaises de la coopération décentralisée*

オーヴェルニュ＝ローヌ＝アルプ州		
州	オーヴェルニュ＝ローヌ＝アルプ州	
面積	69 711 km ²	
人口	8 037 100 人	
姉妹（友好）都市名		
担当者連絡先： （住所 - 電話 - E-mail）	ナタリー・コル (Nathalie COL) Nathalie.COL@auvergnerhonealpes.fr honealpes.fr +33 4 26 73 50 46	

1. 自治体の地勢

フランス本土の約 13 %を占めるオーヴェルニュ＝ローヌ＝アルプ州は、西はマシフセントラルと呼ばれる中央高地、東はアルプス山脈に広がり、その 67 %が山岳地帯です。フランス最大のロワール川をはじめ、本土の川の多くはここを水源としています。アルプスの麓には数多くの湖があるなど自然豊かで、9つの地方自然公園、2つの国立自然公園を抱えています。

2. 自治体の簡単な歴史

60年代には、ローヌ＝アルプ州とオーヴェルニュ州は独立し、前者は8つの県と3つの都市圏（リヨン、グルノーブル、サンテチエンヌ）により、後者はクレルモン＝フェランの経済ゾーンを中心に構成されていました。1982年、州は地方自治体となり、1986年に初の地方選挙が行われました。2016年1月1日より、オーヴェルニュ州とローヌ＝アルプ州が合併し、現在のオーヴェルニュ＝ローヌ＝アルプ州となります。

2. 特徴

パリに次ぎフランスで二番目に観光が盛んな地域で、フランス最多のスキー場を有します。アルプス山脈には欧州最高峰のモンブラン（4810 m）がそびえます。フランス最大の工業地域で、490 000人を雇用します。研究開発への投資はフランス国内トップで、国内約20%の特許はオーヴェルニュ＝ローヌ＝アルプ州で申請されています。

3. 主要産業及び特産品

州の掲げるアトラクティブなイノベーション政策は、次の突出した8分野を核にしています：①未来のテクノロジーを支える工業生産 ②建築・公共事業 ③デジタル ④健康 ⑤

*Fiche de présentation des collectivités participantes aux
6e Rencontres franco-japonaises de la coopération décentralisée*

農業・農産加工業・森林 ⑥エネルギー ⑦交通・移動システム ⑧スポーツ・山・観光

ガストロノミー：欧州随一のガストロノミーを誇る州です。ミシュランガイド掲載の星付きレストラン 90 件、うち 3 つ星シェフが 9 人です。79 件の保護原産地呼称（AOP）がありますが、うち 43 件はワイン、21 件はチーズ（フランス国内の AOP チーズの半数）です。

4. 日本とのイベントや活動又は自治体のプロモーション

日本は、当州における国際政策の中で優先国のひとつであり、「イノベーション内部化に係る経済開発州計画（SRDEII）」及び「高等教育・研究・イノベーション州計画（SRESRI）」にも盛り込まれています。2017 年には、フランス政府外対貿易顧問委員会（CCEF）主催のアジアフォーラム、そして JETRO と州商工会議所が主催のジャパンビジネスフォーラム（日本の経済的プロモーションに向けたイベント）を開催しました。

5. フランスの自治体と日本の自治体が共有できる良い事例はどのようなものがありますか？（テーマ、計画、事例など）

「若者の国際的な移動性」に関する研修会：企業における国際ボランティア（VIE）に関する新援助政策の紹介。

*Fiche de présentation des collectivités participantes aux
6e Rencontres franco-japonaises de la coopération décentralisée*

ボルドー市		
ボルドー・メトロポール		
地域圏 県	ヌーヴェル＝アキテーヌ ジロンド県	
表面積	579,27 km2 (ボルドー・メトロポール内)	
人口	740 000 人 (ボルドー・メトロポール内)	
姉妹/ パートナー都市	福岡市 (九州)	
担当者連絡先 (住所・電話番号・ e-mail)	古島英治 国際交流課 課長 福岡市中央区天神 1 丁目 8-1 kokusaikoryu.GAPB@city.fukuoka.lg.jp	

1. 自治体の地理的位置および見地 (4 行程度)

ジロンド県およびヌーヴェル＝アキテーヌ地域圏の首府。
ワイン産業の世界的中心地であるボルドーは 12.3 ヘクタールものブドウ畑を有し、経営者は 1200 人、アペラシオンの数は 57 種類にもものぼります。50km 先にはサン＝テミリオン、23km 先にはメドック、100km 先にはコニャックと最も美しいシャトーに囲まれてた都市です。

2. 自治体史 (4 行程度)

紀元前 300 年に形成され、1032 年にアキテーヌ公国の首府であったボルドーの街は、1154 年から 1453 年の間、英国の支配下となりました。18 世紀ではフランス最大の港町となり、国際貿易 (インド・アンティル諸島・西アフリカ) による繁栄の時代を迎えました。街に当時から残る 18 世紀の建築遺産が、当時の黄金時代をしのばせます。ボルドーとその周辺からは、モンテーニュ、モンテスキュー、そして作家フランソワ・モーリアックなどの偉大な人物も多く輩出しています。

3. 特徴 (4 行程度)

- 2015 年 1 月 1 日よりボルドー・メトロポールとなる

- 革新都市。不動産投資ではフランスで最大、企業進出においてはフランス第二の都市

- 市内は 2007 年にユネスコ世界遺産へ登録

- 「フランスの比類なき観光地」

*Fiche de présentation des collectivités participantes aux
6e Rencontres franco-japonaises de la coopération décentralisée*

4. 主な産業活動・特産品や名産品（4行程度）

- クラスター：レーザー、航空産業、Avenia（環境技術）、海岸松
- イノベーション
- 観光業および建築遺産
- ガストロノミー：カヌレ、ワインなど…

5. 日本との合同事業または自治体開発（4行程度）

- 2016年5月、福岡に100%ボルドーワインのバーを開設
- 2016年5月18日に日仏イノベーション年の一環として、福岡へ主賓として招待
- 2017年から2019年まで、経済発展・教育・文化活動に関する新規協力計画へ署名

6. テーマ、計画、試行など日仏自治体間で共有したい実例を挙げてください。

- 経済開発：2017年にスタートアップ間の経験交換計画を検討中
- 文化活動：音楽と舞踊コンセルヴァトワール間の交流を立案

市民意識の向上：交換会の企画、それを通じた若者の市民意識の向上。

自治体名 カンヌ市		
州 県	プロヴァンス・アルプ・コート・ダジュール州 アルプマリティーム県	
面積	19.62km ²	
人口	75,226人(2017年)	
姉妹(友好)都市 名	静岡市	
担当者連絡先： (住所 - 電話 - E-mail)	国際交流員：タブイ・マガリ 1 Place Bernard Cornut Gentile 06400 Cannes +336-60-28-76-06, magalie.thabuis@ville-cannes.fr	

1. 自治体の地勢

カンヌ市は地中海岸に面し、モナコ市とサントロペ市のちょうど真ん中に位置します。マルセイユ市から 159 km、パリ市からは 970 km の距離にあります。カンヌ市は、一日もあれば海から山まで観光ができるレランス諸島を含む自然に囲まれた特異な地理的環境です。南アルプスへは約 1 時間 15 分で行くことができます。

2. 自治体の簡単な歴史

1834 年、イギリスのブルーム卿がカンヌ市を訪れた際に、その小さな漁村に魅了され、イギリスだけでなく、ロシアやヨーロッパ中の貴族を引き寄せました。その後、カンヌ市は国際都市として発展し続け、1939 年から国際映画祭を行うことになりました。現在、カンヌ市は多くの国際イベントと国際会議の都市として知られています。

3. 特徴

- ・世界的なブランド：漁村から国際都市へ
- ・カンヌ市にはヨーロッパの中でも最も優れたコンベンション施設である「パレ・デ・フェスティバル・エ・デ・コングレ」があり、国際ビジネス展示会の実施実績はフランスで第 2 位です。
- ・パリに続いて 2 番目のビジネスの目的地です。
- ・“Everything is walking distance”（徒歩圏内にすべてがある街）であり、ハイクオリティなサービスのホテルがあります。
- ・人口はアルプマリティーム県で 3 番目です。
- ・カンヌ・マンデリュウ空港は、ビジネス利用空港としてフランス国内で利用者数第 2 位です。
- ・2,749 の商業施設 (INSEE2013) があり、また 10,781 企業 (INSEE2015) がある中の 6,819 企業は RCS (Trade and Company Register) に登録しています (CCINCA2016)。

《2013 年のカンヌ市来訪者数》

- ・ 2013 年、1 億 900 万人の観光客と 250 万人の会議参加者がカンヌ市を訪れました。
- ・ 国際的な観光地として認められており、カンヌ市を訪れる観光客の半数以上が外国人観光客です。1 年間に、約 3 億人の観光客を迎えています。

4. 主要産業・特産品

- ・ 文化と国際イベントを中心とした発展をしています。
- ・ ビジネスとレジャーの街です。
- ・ カンヌ市内の創造産業の発展を目的とする “カンヌ・オン・エル” というプロジェクトの下、大学のキャンパスとスタートアップ企業向けの交流会の開催、そして、‘イメージとサウンド’ にかかわるメディアや映画、ドラマなどの制作とその撮影施設の建設などを実施しています。

5. 日本とのイベントや活動、自治体のプロモーション

- ・ 文化交流 としては、「シズオカ×カンヌウィーク 2001」で、カンヌ市民であるジール・トラベルソ氏の写真展示会、2015 年にはカンヌ市の演劇学院と交流、日本の伝統芸術に関する展示会 “ジャポニズム” などを実施、開催しています。
- ・ 自治体プロモーションとしては、財務についての協力、防災についての協力を考えています。

6. フランスの自治体と日本の自治体が共有できる良い事例はどのようなものがありますか？

2018 年 10 月に姉妹都市としての協力と交流を深める目的で、静岡市とカンヌ市は自治体間交流についての覚書を結びます。

シャルトル市

人口：42,000人
周辺都市を含めた人口：120,000人
面積：17 km²



1) 地理的位置

シャルトル市は、パリ南西88 km、ウール川沿いに位置する。「フランスの穀倉」と呼ばれるボース平野の中心にある。

2) 歴史

新石器時代から人が住み、古代ローマ時代にはシャルトルは「オートリカム」と呼ばれ、既に重要な都市であった。

中世において、シャルトルは学問及び宗教の中心地であった。1979年にユネスコ世界遺産に登録された大聖堂は、12世紀から13世紀にかけてフランスで最初に建造されたものである。

3) 特徴

古代ローマ時代から今日までの重要な文化遺産。

大聖堂をはじめ、サン・ピエール教会、サン・テニャン教会、サン・ジャン・バチスト教会（ルシェープル市）には、フランスで最も豊かで古いステンドグラスを所有し、国際ステンドグラスセンター及び沢山のステンドグラス職人のアトリエが集まる重要都市である。

更に、サン・テマン礼拝堂とピカシェットの家に代表されるように、現代モザイクの地でもある。

4) 産業部門：地方名産

シャルトル市は、香水・化粧品産業における世界最大の生産本拠地（Cosmetic Valley）である。

同様に、第三次産業においても盛んである。特産品として、シャルトルのパテ、ビール、小麦粉（パン）、マカロンなどがある。

5) 日本との活動

奈良県桜井市との20年来の友好関係によって、文化交流や日本語教育活動が行われている。サントル地方の第一の観光都市であるシャルトル市は、年間150万の観光客が訪れる。シャルトル市主催による光の祭典は、市内25ヶ所の建造物を光のアニメーションと音楽によってつづられている。期間は、4月中旬から9月中旬までの日没より始まり、光の街として80万人が訪れた。

自治体交流基礎データシート		
自治体名	ピカルディー地域圏 オワーズ県コンピエーニュ市	
面積	53 (km ²)	
人口	市 43,700 (人) 都市圏 72,000 (人)	
姉妹（友好）都市名	白河市	
日仏交流窓口担当課	フランソワ アリエル (副市長 国際交流担当) ポルタール キャテリーヌ (主席参与)	
電話番号/FA X番号	03 44 40 72 40 / 03 44 40 72 20 06 32 60 20 84	
E-mailアドレス	arielle.francois@mairie-compiegne.fr catherine.portal@mairie-compiegne.fr	

地勢

コンピエーニュ市はパリから車で 45 分、シャル・ド・ゴール国際空港から 35km、ヨーロッパの交通量を誇る A1 高速道路から 10 分の所に位置する。オワーズ河沿いにあり、コンピエーニュの森(14,5 km²)に囲まれ、豊富な文化的遺産と長い歴史を誇るコンピエーニュは、市民に卓越したライフスタイルを保証すると同時に戦略的な地域を提供している。

都市の歴史、成り立ち

オワーズ河と森に囲まれ、王室から皇室までの市となったコンピエーニュはチャールズ 2 世からナポレオン 3 世まで、フランス史の主要舞台となってきた。国の権威と権力の座と同時に、王室のリゾート地としてコンピエーニュは二重の役割を保ってきた。フランスの政策は、時としてコンピエーニュで決まった：第一次世界大戦の終わり、1918 年 11 月 11 日には停戦の調印式がコンピエーニュの森の中心部で行われた。

特徴

歴史と文化遺産の街として、コンピエーニュ市は中心部に壮大な宮殿を持ち、いくつかの国立博物館と歴史的的重要建造物を有する：第二帝政博物館、車と観光博物館、及び重要文化財に指定されている公園等がある。また、抑留と強制退去の博物館は 20 世紀の悲劇的な記憶を保持している。さらに、その最先端の研究が世界的に認められているエンジニアリング学校、コンピエーニュ工科大学 (UTC) は 5,000 人の学生を抱え市内中心部に位置している。また、ヨーロッパ最大のブナの森は花の市コンピエーニュの入り口に位置している。

主要産業及び特産品

コンピエーニュ都市圏は化粧品や医薬品事業、自動車部品サプライヤー、化学製品製造、物流・サービス活動など多様な産業基盤を有している。コンピエーニュ工科大学(UTC)の研究センターは農産業と I-トランス（インテリジェント交通）の二つの世界規模のビジネスクラスターの本部である。また、化学工科大学（ECSOM）と UTC の合併によりヨーロッパ初のグリーンケミストリー部門が 2008 年に創設されている。セーヌ川北ヨーロッパ運河のプロジェクトはコンピエーニュを通る予定であり、今後の運河産業の拡大が期待されている。また、文化、芸術、スポーツも盛んであり、パリ・ルーベ自転車レースをはじめ、競馬、ジャンダルク祭、林業祭、歴史映画フェスティバルなどが知られている。2010 年にはフランスで一番スポーツの盛んな町に選ばれており、2012 年にはフランスでイノベーションが最も盛んな町に選ばれている。

日仏交流においてこれまでに実施された事など

姉妹都市署名時に結成された日仏友好協会を通じて白河市との提携プロジェクトが実施されてきている。主な活動として、中学生のグループのホームステイ、聖歌隊の招待、日本語クラス（3 レベル）、日本への旅行、折り紙のワークショップ、書道、市の入り口に 80 本の桜を植樹、姉妹都市 20 年記念に日本映画の週を開催、東日本大震災後白河市との連帯行動の動員などがある。また、コンピエーニュ市には、ピカルディー地域で唯一日本語を教えている高校がある。

*Fiche de présentation des collectivités participantes aux
6e Rencontres franco-japonaises de la coopération décentralisée*

自治体名		
州 県	エソンヌ県 (91)	
面積	1804 平方キロメートル	
人口	129 万 7504 人	
姉妹（友好）都市名	マリ共和国（ディエマ県、デュアンツァ県、ニオロ・デュ・サヘル県） 中国（武漢市） 日本：茨城県と交流開始	
担当者連絡先： （住所-電話-E-mail）	クリステル・チェーグル （Christel Tschaegle） エソンヌ県相談役、文化・観光・国際事業部（Conseil départemental de l'Essonne, Direction de la culture, du tourisme et de l'action internationale）, 住所：フランス、エブリー市フランス大通り、県庁 郵便番号 91012、特別配達番号 （Hôtel du Département, Boulevard de France, 91012 Evry Cedex） 電話：+33-1-60919519 E-メール： ctschaegle@cd-essonne.fr	

*Fiche de présentation des collectivités participantes aux
6e Rencontres franco-japonaises de la coopération décentralisée*

1. 自治体の地勢（約4行）

パリから 40 キロメートルの場所に位置することが、エソンヌ県の主なる魅力であり、この距離によって当県では、都市化して活動的な北部と緑に囲まれた平穏な南部が巧みに混ざり合う。当県には 4 万 9000 ヘクタールの自然生息地と 55 カ所の自然環境保全地域があり、変化に富む絵画的な風景を楽しめ、観光事業発展のための重要な要素が備わっている。近代化と質の高い生活が同居するエソンヌは未来に向けて発進するパリの不可欠なパートナーである。

2. 自治体の簡単な歴史（約4行）

県創設から本年度でまだ 50 年しかたっていないエソンヌは、フランスでは比較的新しい県である。パリの近隣県であるために、パリ盆地の豊かな歴史を継承した。マドレーヌ文化期（後期旧石器時代、エティオールで発掘）から、飛行機の黎明期、ミリー・ラ・フォレ近郊でのメロヴィング朝ダゴベルト王の祭典や中世の大戦を経て、19 世紀末の労働者が数千人参加した大規模なストライキに至るまで、エソンヌは常にフランス歴史の中心に位置していた。

3. 特徴（約4行）

国際交流・国際運輸網の中核（オルリー空港、高速道路、超高速列車 TGV の駅がある）に位置し、企業の競争力を担う拠点や研究センター及び研究所（サンクロトロン・ソレイユ（Synchrotron Soleil）、エヴリーのジェノポール（Genopole d'Evry）、サクレの原子力エネルギー・代替エネルギー局（CEA de Saclay）またはパリ-サクレ大学）があり、エソンヌは革新的な土地であると同時に、良好な生活環境を保ち、歴史・文化・観光・美食の分野の財産が豊かな自治体である。

4. 主要産業及び特産品（約4行）

R&D フランシリアンヌ（イル・ド・フランスに設置された企業の調査・開発部）の 29% の人員がエソンヌに集まり、世界的規模の科学・テクノロジーの拠点を抱える。革新的産業の主要 3 部門であるバイオテクノロジー、オプティクス・フォトニクス（光学・光工学）、エコテクノロジーの研究・開発がこの地で行われる。エソンヌの工業部門の特徴としては、重工業グループ（航空、自動車）の存在が指摘される。

当県では、さらに、イル・ド・フランス地域圏の 4 分の 1 以上の農産物が生産され、農業従事者・職人・レストラン経営者のグループや組合が 50 以上あり、「生産物・産地エソンヌ（Produits et Terroir Essonne）」マークを共同で用い、質の確かな生産物・製品を提供する。（クレソン、ミリー・ラ・フォレ産のピリッと辛いミント、ガティネ産のハチミツ等）

5. 日本とのイベントや活動又は自治体のプロモーション（約4行）

エソンヌの県審議会と茨城県庁は 2018 年に交流関係を開始することを決定した（1986 年

*Fiche de présentation des collectivités participantes aux
6e Rencontres franco-japonaises de la coopération décentralisée*

の同意書で具体化した、2000 年以降休止状態であった)。両自治体は、両地域を繋げる人物である藤田嗣治の逝去 50 周年記念の一環として、今年の 10 月に文化・観光の分野を軸とする交流関係に関する合意の新議定書に署名する。

6. フランスの自治体と日本の自治体が共有できる良い事例はどのようなものがありますか？（テーマ、計画、実例など）

持続可能な開発に関するテーマ：「エネルギー転換・気候 2017～2021 年」のための県案に沿って、当県はエネルギー転換と気候変動緩和という 2 つの挑戦を掲げて動き出した。エネルギー効率、再生可能エネルギー、循環経済、持続可能な地域開発と気候変動に伴う環境変化への地域対応という問題は、今後、公共活動を行う上で絶対に見逃せない課題である。よって、県案では、当地が気候変動に対応し、以下の問題を取り扱うことを意図する。

- (ア)部門別 5 政策（エネルギー、環境、移動性、自然環境に対する行政責任、エネルギーの十分な消費が不可能な生活環境）
- (イ)自然環境への責任を分担するパートナーシップ（村落環境、農業、国際活動）
- (ウ)県内部での促進活動
- (エ)エネルギー変換・気候変動緩和のための改革資金

交流に関するその他のテーマ：

- **将来の地球のためのエソヌの運動：**この運動をととして、当県は明日のエソヌを模索し、エソヌ住民の活性化を図る。目的は、未来を展望する本運動を通して、2040 年の当地域を構想する。20 年後のエソヌの発展状況に関する展望を提示するため、2017 年 10 月に、当県で自治体の運動推進者（企業責任者、専門家、諸団体関係者など）をワークショップの期間招集した。これらのワークショップは、以下の 5 つのテーマのもとで開かれた：真正さ、模範性、身近さ、発展、秀逸性
- **文化：**当県はエソヌ地域での公共文化活動の主な推進者であり、2016 年の 6 月 27 日に当県は、全ての人のための野心的な文化政策を採択した。この政策には 3 つの優先課題が示されている。創造と革新の支援、芸術・文化教育の優遇（幼児から大学生まで）、エソヌの素晴らしい文化遺産の保護と再評価である。
これらの課題は、当県が進める文化施設（県所有シャマランド領地、写真のフランス美術館、藤田のアトリエ屋敷、県所有メレヴィル領地など）での全活動に採り入れられ、当県が協賛・支援するエソヌの文化活動家のプロジェクトも、これらの課題を指針とする。

イッシー・レ・ムリノー		
地域圏	イル・ド・フランス	
県	オー・ド・セーヌ	
面積	4,3 km ²	
人口	6 万 9941 人	
パートナーシティー	千葉県市川市	
担当者： (住所・電話番号・Eメール)	モルガン・ミヨン 62 rue du Général Leclerc 92130 Issy-les-Moulineaux 01 41 23 88 37 morgane.millon@ville-issy.fr	

1. 自治体の所在地及び地理的概要(約 4 行)

パリの南西部に位置。その形状から「小さな王冠」と呼ばれている、パリ市を中心に取り囲む 3 県のうちの 1 県、オー・ド・セーヌ県にある市。また、パリ市内の公共交通機関が乗り入れている市でもある。7 つの地区とセーヌ川にある 1 つの島（イル・サン・ジェルマン）から構成されている。

2. 歴史的概要(約 4 行)

当時、イッシー・レ・ムリノー市は、パリ市との境を監視し定期的に包囲するという要塞の役目を果たしたことから、パリ市の歴史にとり重要な役割を持つ。また、20 世紀初頭、イッシー・レ・ムリノー市の飛行場で初のテスト飛行が行われ、その記録的事実からも分かる通り、ヨーロッパにおける航空業界の発祥地でもある。今日では、デジタル、コミュニケーション、イノベーションに特化した近代的な都市となり、インテリジェント・シティ、サステナブル・シティとしての事業活動にも力を入れている。

3. 特徴(約 4 行)

イッシー・レ・ムリノー市は市民のためのデジタル化を推進する市として、パイオニア的存在である（電子行政システム、電子投票システムなど）。14 都市との姉妹都市及びパートナーシティ関係にあり、世界に開かれた都市でもある。

4. 主要事業活動、専門領域または/もしくは特産品（約 4 行）

デジタル及びイノベーション関係事業が市の事業活動のうちの 60%を占め、市内の企業の殆どがサービス業関連企業である。また、マイクロソフト、コカコーラ、ソデクソ、ヒューレット・パッカード、アルテ、カナル+など、多数のグローバル企業がその本社を同市に置いて

いる。オフィス街として活気のあるイッシー・ヴァル・ド・セヌ地区はエコ地区に指定されている他、イノベーション及びデジタル事業を中心としたインキュベーターも存在する。

5. 日本に関連した活動及びイベントもしくは自治体のプロモーションイベントなど（約 4 行）

イッシー・レ・ムリノー市は 2009 年以降、市川市とのパートナー関係を通じ、日本文化に関連した多数のイベントを開催。2011 年の東日本大震災後は、復興支援イベントにも力を入れる。最近では、エコ地区であるフォール地区に、日本文化に特化したマルチディシプリナリーな公共スペースをオープンした。

6. 日仏自治体と共有すべきベストプラクティス及び成功例など（テーマ、プロジェクト、経験談など）

共有すべき事例としては、**エコ地区**として再開発されたフォール地区を挙げることができる。軍の旧兵舎地区であった土地が、低エネルギー建築、地熱発電、空気圧式ゴミ収集システム、ホームオートメーションなどの先端技術を配備した居住環境を提供する地区へと生まれ変わる。居住者数は 3500 人。住宅地として開発されたとは言え、店舗が並び、サービス機能（保育園、小学校、警察）も充実し、近代的な設備が整った地区である（文化としての設備：「さくらんぼの実る頃」、スポーツ：風水を取り入れたプール、花と緑：市川市とのパートナーシップ関係による日本庭園）。当エコ地区は、アンドレ・サンティニ市長の強い意向のもと、自治体及び市民の協力を得て、官民セクター共同により実現した地区である。尚、当エコ地区開発にあたりプロジェクトの進捗に応じ市民の声を取り入れるヒアリングも行われた。また、イッシー・レ・ムリノー市は、全ての革新的技術と専門知識の凝縮とも言える**イッシーグリッド**により省エネ分野では先端を行く市でもある。**イッシーグリッド**とは、エネルギー消費の最適化に向け、住宅地、民間施設（企業、店舗など）及び街灯のエネルギー消費を管理する効率的でスマートなエネルギーネットワークであり、エネルギー消費を「均等化」することで、電力消費のピーク時を回避していく。これにより電力消費コストが削減され、市としては実行可能なアプローチ及び持続可能な開発に従事していく。

自治体交流基礎データシート

メトロポール・デュ・グラン・ナンシー／ナンシー市		
地域圏	グランデスト(アルザス、シャンパーニュ＝アルデンヌ、ロレーヌ)	
県	ムルト＝エ＝モーゼル県	
面積	142km ² (メトロポール)	
人口	270,000 人 (メトロポール)	
姉妹(友好)都市名	金沢市	
日仏交流窓口担当課	国際交流、姉妹都市交流課 點田 永里奈	
電話番号	Tél 0033(0)383853305	
Email アドレス	eruban@mairie-nancy.fr	

地勢

パリから TGV で 1 時間半の距離にあるナンシーは、フランス北東部のアルザス＝シャンパーニュ＝アルデンヌ＝ロレーヌ地域圏に位置し、EU 創設国であるドイツ、ベルギー、ルクセンブルクの国境の一部を共にする。この地理的条件を活かし、メッツ、チオンヴィル、エピナルと共に、市・広域連合のネットワークである「シオン・ロレーヌ」メトロポールを確立した。

都市の歴史、成り立ち

ナンシーは代々の公爵によって街づくりがなされた。公爵の館を築き、住民を定住させ、「旧市街地」（当時の都市化された中心部）を城壁で護り上げた。16 世紀後半、シャルル 3 世は新市街をつくり、18 世紀半ばには、ポーランド王スタニスラスが、王の広場（今日ユネスコの世界遺産に登録されているスタニスラス広場）を介し、旧市街と新市街をひとつにまとめた。

特徴

大ナンシー広域連合内には、ロレーヌ大学、優れた公的私的医療機関、複数の文化・スポーツ施設など、大都市レベルの様々なサービスが享受できる。都市住宅環境にも公園緑地の充実がはかられている。またナンシー派（アール・ヌーヴォーの一派）は、ナンシーの文化生活に大きな影響を与えている。

主要産業及び特産品

- 電子経済、情報技術
- 美食、ロレーヌ郷土料理（ロレーヌキッシュ、ババ、ミラベル・ベルガモットの特産品）
- 生命科学（生物工学、環境、健康）
- ものづくり（高級家具師、陶芸家、石工、弦楽器職人、ガラス職人）

日本関連のイベント、活動について

- 今年、金沢市との姉妹都市提携 45 周年を記念し、2018 年 9 月 29 日～11 月 11 日までスタニスラス広場に和風の東の間の庭園「ジャポニカ」を設置、聖ニコラ祭が日本を招待国とし、様々な日本文化紹介イベントを準備。
- 日本をテーマとしたコンサート、展示、日本文化体験会などの実施
- 人的交流：夏期研修生、奨学生、学生、奨学生、研修医、医学生、エンジニア、職人、アーティスト、音楽家、パティシエ、ジャーナリスト、スポーツ選手等の派遣・受け入れ

日仏自治体間で情報交換したいテーマ、ベストプラクティスについて

環境移行、変遷の分野におけるストラテジーの考案、練り上げ

*Fiche de présentation des collectivités participantes aux
6e Rencontres franco-japonaises de la coopération décentralisée*

メトロポール・ニース・コート・ダジュール		
州	プロバンス・アルプス・コート・ダジュール	
県	アルプス・マリチーム	
面積	1400 km ²	
人口	550 000 人	
姉妹（友好）都市名	鎌倉市 姉妹都市提携：33 友好提携：21	
担当者連絡先： (住所 - 電話 - E-mail)	サンポール・ジュリア Julia.saint-pol@nicecotedazur.org +33 4 89 98 12 43	

7. 自治体の地勢（約4行）

メトロポール・ニース・コート・ダジュールは地中海と南アルプスの間の橋を作る 49 町で構成されています。この区域はニースやカーニュ・シュル・メールという大きな町と小さな山の村で編成されます。

8. 自治体の簡単な歴史（約4行）

2009 年 6 月に、山の村共同体はニース都市共同体と結びたいと要求しました。それから 2010 年 12 月 16 日の新しい法律でメトロポールの形成が可能になって、2012 年 01 月一日にメトロポール・ニース・コート・ダジュールはフランスの最初のメトロポールになりました。

9. 特徴（約4行）

特別な地理で、メトロポール・ニース・コート・ダジュールは国内と国際の観光客に大変人気が出ました。一年中の青空は一つ、同じ滞在にスキー（六つのリゾート）とスキューバダイビングができることが恐らく人気の一つの理由です。とても変化に富んでいるその風景も自治体の一つのチャレンジです。

10. 主要産業及び特産品（約4行）

メトロポール・ニース・コート・ダジュールはフランス 2 番目の観光地で、国際空港に頼ります（1年に一千万の乗客）。そして大学も魅力があって、3 万 5 千人の学生がいます。メトロポールの経済発達も様々な政治理論に根拠をします。例えば、「スマート・シティー」（革新都市）や持続可能な開発などです。2018 年に 2 番目の市街電車線が開会されて、3 番線も建設され始めました。

*Fiche de présentation des collectivités participantes aux
6e Rencontres franco-japonaises de la coopération décentralisée*

11. 日本とのイベントや活動又は自治体のプロモーション（約4行）

2016年に50周年記念が行われた姉妹都市提携の一環として、ニースは鎌倉市と深い関係で結ばれています。そして2017年11月に、プロバンス・コート・ダジュール州を中心とした在仏日本商工会議所のガラーが行われまして、メトロポール・ニース・コート・ダジュールの魅力も紹介されました。

12. フランスの自治体と日本の自治体が共有できる良い事例はどのようなものがありますか？（テーマ、計画、実例など）

メトロポール・ニース・コート・ダジュールの主な対策は公共スペースの安全化です。そのために、フランスの先駆的なCSUという、都市の2000個カメラを監視する所は作られました。

再開発地区・乗換駅・イベント所・「グラン・アレナス」

空港と電車と市街電車と市バスを繋ぐ未来の乗換駅のおかげで、「グラン・アレナス」っていう再開発地区の魅力は非常に発達します。地中海の中心にある国際的な地域であるメトロポール・ニース・コート・ダジュールは南ヨーロッパでビジネスをしたい社会にとって、非常に戦略的な選択です。

自治体名 オクシタニ州		
面積	72 724 km ²	
人口	5,724,711 人	
姉妹 (友好)都市名	京都府 愛知県	
担当者 連絡 先：	Martin Baer martin.baer@laregion.fr	
(住所 - 電話 - E-mail)	 +81 08013895145 4-11-44, Minami-Azabu, Minato-ku, Tokyo 106-8514	

1. 自治体の地勢（約4行）

フランス南部に位置する、フランスでも2番目に大きいこの地域圏は、28のEU加盟国のうちの13か国よりも広大な面積を誇ります。ピレネー山脈から中央高地まで、ジェールの谷から地中海沿岸、そしてガロンヌ川からローヌ川に至るまで、他では目にすることのできない変化に富んだ風景を有しています。

2. 自治体の簡単な歴史（約4行）

2016年1月1日に正式に誕生したオクシタニー / ピレネー＝メディテラネ地域圏は、フランスの中でも魅力的な地域です。様々な特長が集約されたこの新しい地域圏は13の県からなり、類い稀な遺産とも言えます。

3. 特徴（約4行）

地域圏は国内第2位の規模を誇り、13の県、GDP第4位、企業設立率では第1位、35のグランゼコール、2つの大学、8つの世界遺産、歴史的建造物では第3位、2つの国立公園、1つの海洋自然公園、6つの地域自然公園、215 kmの海岸、そして10の空港があります。

4. 主要産業及び特産品（約4行）

ブドウ栽培：世界で最も大規模な AOC ワインのブドウ栽培地があります。

農業：地域圏面積の半分を占め、BIO（有機農業）や大規模農業においては国内第 1 位を誇ります。

研究：1 年あたり 55 億ユーロの国による投資。フランスにおいて第 1 位の研究地域、ヨーロッパでは第 20 位。

航空宇宙産業：トゥールーズに拠点。Airbus グループの本社。

観光：フランス第 4 位の観光地域圏

地域の特製料理：カスレ、牡蠣、トリュフ、鴨肉のコンフィ、アルマニャック、ワイン、ロックフォール、ピレネーのトムチーズ

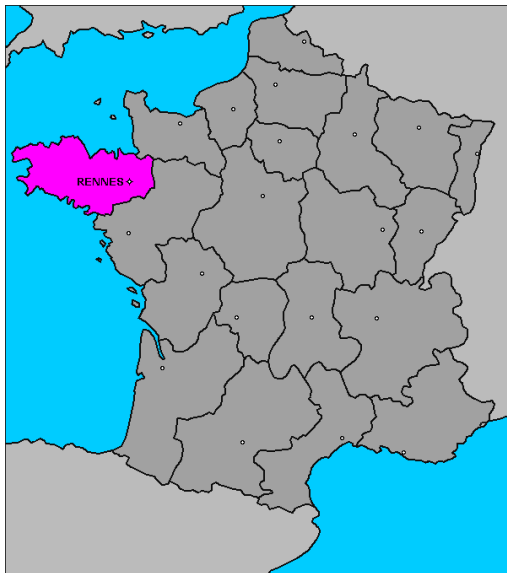
5. 日本とのイベントや活動又は自治体のプロモーション（約 4 行）

- ジュール・ゲード高校と府立鴨沂高校の交換留学（進行中）
- 地域柔道大会の「スポーツ・学習」ユース交流プロジェクト
- HORIBA 社によるモンペリエでの拠点開発プロジェクトとモンペリエ大学医学部との連携確立におけるサポート
- 2016 年 12、そして 2018 年 6 月、日本へのキャロル・デルガ地域圏議長率いる経済代表団の派遣

6. フランスの自治体と日本の自治体が共有できる良い事例はどのようなものがありますか？（テーマ、計画、実例など）

- 大学間の交換留学や子供たちの交流
- 観光の発展
- 経済交流

第6回 日仏自治体交流会議
参加自治体のプレゼンテーション用紙

レンヌ		
地域圏	ブルターニュ	
県	イル＝エ＝ヴィレーヌ	
面積	レンヌ 50 km ² レンヌ・メトロポール 711 km ²	
人口	221 272 人 (レンヌ) 450 593 人 (レンヌ・メトロポール)	
姉妹/ 友好協力都市	仙台と姉妹都市	
担当者 問い合わせ先： (住所 – 電話 – メールアドレス)	マリー＝アンジュ・オリウエラ サービス責任者 国際とヨーロッパ レンヌ/レンヌ・メトロポール オテル・ド・レンヌ・メトロポール 4 avenue Henri Fréville CS 93111 35031 Rennes Cedex 電話: + 33 (0)2 23 62 21 18/21 24 ma.oriuela@rennesmetropole.fr	

第6回 日仏自治体交流会議
参加自治体のプレゼンテーション用紙

1. 地域の現状と地理的要素（約4行）

フランスの最西端、ブルターニュは大西洋に囲まれた地方です。ブルターニュ地方の地上の玄関口とも言えるレンヌは、地域圏の首都でもあります。様々な交流が交差する地点として、2018年よりパリから1時間27分、そしてモン＝サン＝ミッシェルより45分という恵まれた地理条件を備えています。

2. 地域の簡単な歴史（約4行）

旧ガリアの町“コンダテ”は、ローマの支配下時代より中世時代全体を通し、その重要性を徐々に高めていきました。17世紀には、議会の建設により地方政治の本拠地となり、19世紀以降、市は劇的な発展を遂げ、1950年代に入ると自動車産業と電気通信により発展に拍車がかかります。現在でも、ダイナミックな商業活動が市に活力を与えています。

3. 特徴（約4行）

25歳以下の住人が35%を占め、高い人口増加率を誇るレンヌは、フランス内で最も“若い”市の1つに数えられています。市民と団体（2015年5600団体）活動、および失業率の低さで他の市とは一線をおく学生の街です。年間を通して開催される様々なイベントやお祭り、数多くの文化的施設、歴史的建造物などにより、住みやすい街として常に上位にランクインしています。

4. 主要産業と特産品・地元の名産品（約4行）

レンヌの主な活動分野は高等教育機関と研究機関、食品産業（主に酪農分野）、健康とバイオテクノロジー、自動車産業です。さらに、デジタル分野に至っては、フランス国内で最も活発であり、最も集中している地域でもあります。2650社、25000名の雇用口を数え、毎年500名の雇用口を生み出しています。

5. 日本とのイベントや活動または地方自治体のプロモーション（約4行）

大学間におけるかつての姉妹提携から、1967年に設立された協力プロトコルは、若者とスポーツの交流を軸とした、文化と経済協力、大学、市民協力を目標に掲げる地方自治体の協力活動を目指して掲げています。市民による定期的な交流の他にも、臨時的な協力活動も行っています。（国際見本市の際、2011年3月の津波被害者基金の設置と活動）。

6. あなたは、フランスと日本の地方自治体と共に、どのような活動を共有したいと望みますか？（テーマ、計画、体験など）

*Fiche de présentation des collectivités participantes aux
6e Rencontres franco-japonaises de la coopération décentralisée*

欧州の中心都市 ストラスブール		 ソース：ウィキペディア
地方	グラン・テスト	
県	バ・ラン	
広さ	339,85 km ²	
人口	489 767 人	
姉妹都市 提携都市	現在、鹿児島市との提携が考慮されています	
問い合わせ (住所・電話番号－ E メール)	1 Parc de l'étoile – 67076 Strasbourg sandrine.millet@strasbourg.eu 電話 + 33 3 68 98 74 22	
1. 自治体の情勢と地勢 (約 4 行) アルザス地方のライン河流域で、ドイツとの国境都市であるストラスブールは、地図上で欧州の中心に位置するという戦略的なポジションを有しています。人道主義を掲げるストラスブールは、フランスとドイツの和解の象徴都市であり、欧州議会の中枢を担っています。また、欧州連合や欧州評議会をはじめとした多くの機関の本部もストラスブールに置かれています。 2. 自治体の歴史要約(約 4 行) 紀元前 12 世紀に古代ローマ人によって築かれ、後に神聖ローマ帝国に帰属したストラスブールは、自由都市としてライン川流域地帯におけるヒューマニズムの揺籃の地となります。グーテンベルクの活版印刷は、この地で発明されました。中世期に威光を放ったストラスブールは 1681 年、ルイ 14 世の支配下に置かれます。1870 年から 1945 年の間には、4 度にわたる国籍変更を余儀なくされました。 3. 特色 (約 4 行) フランス第二の外交都市、また首都をのぞくとニューヨーク、ジュネーブに続く世界第三位の外交都市となるストラスブールは、ヨーロッパの基本理念である平和、民主主義、人権を称揚し、国際協力に尽力してきました。1990 年より、トラムウェイや、歩道、自転車道といったモビリティ整備が行われ、現在はフランスで最も自転車道の整った都市となっています。また、ストラスブールでは自然回帰と生物多様性の維持にも力を入れています。 4. 主要セクターと地方の特産品 (約 4 行) ストラスブールは、イノベーションの原動力として、世界的に有名な大学と研究施設を有		

*Fiche de présentation des collectivités participantes aux
6e Rencontres franco-japonaises de la coopération décentralisée*

します。4 度にわたり、この地で研究に取り組む専門家がノーベル賞を受賞しています。バイオテクノロジー、医療テクノロジー、デジタル産業といった、未来を担うセクターの研究が行われています。またストラスブールは、幾世紀にもわたる伝統をベースにして進化し続けるガストロノミーを誇ります。さらにヨーロッパで最も古いものに数えられるクリスマス市場は、200 万人を超える訪問者を集めています。この市場は国外でも開催され、2009 年ならびに 2010 年には東京で実現されました。

5. 日本関連のイベント活動と、自治体のプロモーション活動（約 4 行）

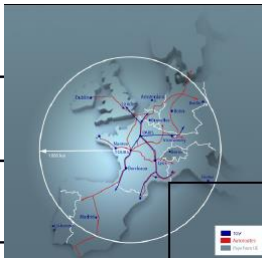
- 各インスティテューション、学術機関、団体協会との提携による日本の芸術文化の促進。とりわけ、2017 年に 25 周年を迎える日本総領事館と、2001 年に開設されたアルザス欧州日本研究所との提携による実現。
- ゲスト国に日本を迎えた 2012 年の欧州ストラスブール見本市には、20 万人を超える訪問客が記録されました。
- リコー、シャープ、THK、ユニクロをはじめとする日本の大企業がアルザスに拠点を置いています。
- 2009 年、2010 年の 12 月に、東京にてストラスブールのクリスマス市場を開催。2016 年の 2 月には初めて「ストラスブール・モナムール」が東京で開催。

6. 日本とフランスの自治体間に希望する交流内容（テーマ、プロジェクト、実例など）

- 長期的な都市発展の新モデルについて
- 緑化都市、都市農業、生物多様性
- 国境横断型トラムウェイ、モビリティ整備の発展
- 医者の方針による運動と健康維持
- 市民参加

VILLE DE

TOURS

地方	サントル	
県	アンドル・エ・ロワール(37)	
面積	34,67 km ²	
人口	137.000 人	
姉妹都市/協力関係	高松(香川)	

1. 自治体の地理的位置ならびに特徴

トゥール市は、ロワール河の流域 - ユネスコ世界遺産として登録 - に位置し、ヨーロッパ交通網の中心軸にあり、非常にアクセスし易く、フランス国内主要都市の中で中心部にあります。

トゥール市の中心にあるトゥール駅はまた、ロワシー - シャルル・ド・ゴール空港まで、TGVで1時間35分で結ばれています。トゥールにあるヴァル・ド・ロワール空港は、世界数十カ国と結ばれているロンドンのスタンステッド空港(ハブ空港)に定期便を提供しています。

2. 自治体の簡単な歴史

紀元後1世紀に形成された、このローマ時代の古都市は、歴史上、フランスの主要な町として特に王都市、ルネッサンス期に王が居住する都市として幾度も登場します。昔から、トゥールは多くの著名な人たちを惹きつけてきました。トゥールのマルティヌス(キリスト教-マルタン聖人)、シャルルマーニュ、ジャン・フーケ、ラブレー、ルネ・デカルト、オノレ・ド・バルザックなど。

3. 特徴

歴史と自然遺産を愛する方には絶好の目的地であるトゥール市は、人類の世界遺産に登録されたフランスの偉大な遺跡 - ロワール峡谷、「フランス庭園」の中心での都市型散歩が豊富です。「アール・ドゥ・ヴィーヴル(生活芸術)」として知られ、認められるトゥール市は、多くの観光客が、花市やカフェのテラス、ロワール河の岸辺、ロワール沿いのサイクリング、そして、旧市街地の商店街を利用しにやってきます。文学とフランス語教育の地であるトゥール市は、訛りのないフランス語を使うことから、トゥレーヌ語学院のような多くの語学学校があります。

4. 主な活動セクター、専門領域かつ(または)地方物産(約4行)

名声ある地であり、創造と革新の地域として、140以上の公立、私立の研究所があり、競争力を高める産業拠点クラスター。また1500人の研究者が大学、原子力研究センター、INRA 国立農業研究所に集まっています。都市圏では専門分野で実用の可能性を研究。なかでも、強力なマイクロ・エレクトロニクス、放射線利用薬、切断機器、エラストマー、知覚分析によるデザインの五分野があります。

トゥール市は、ラブレーの別荘地としてのガストロノミー国際都市であり、IEHCA(欧州食料歴史・文化研究所)、地元ワイン振興のヴィティロワール祭、地方特産(葡萄畑、トゥレーヌ・サントモールのヤギ・チーズ、トゥレーヌ地方の豚肉料理リヨントリエツ、トゥレーヌのジェリーヌ鶏、トリュフ、フアス、ヌガー・ドゥ・トゥール)など、世界中に知られたノウハウがあります。

トゥール市は、年間を通して、大きなイベントや、コンヴェンション、シンポジウム、スポーツイベント、国際会議を受け入れています。自然や遺産の魅力に加えて、アクセスの良さや十分な設備整備されたトゥール市は、出張先としても重要な目的地になっています。

ル・ヴァンシ - ジョン・ヌーヴェル氏による、ガラスとアルミニウムの国際会議場 - は、市の中心に位置し、6階にわたり2万3千㎡の規模を誇っています。トゥールの博覧会場 - グランド・ホール - は、フランスでも最も大きな会場の一つとなっています。

2017年3月には、オリヴィエ・ドゥブレ氏のコンテンポラリー創造センター(CCC OD)が開館します。ポルトガルの建築事務所アイレ・マテウスにより構想された、この新しい文化施設は、野心ある展覧会プログラムのおかげで、トゥール市の観光の魅力をより一層引き立てるでしょう。

5. 日本との交流事業または自治体振興事業

トゥール市は、日本に関連するイベントを定期的に企画しており、最近では、2016年9月10日に、ロワール川沿いで、「ガングットを日本の色に」を開催。(日本食、日本文化体験、観光案内、日本語レッスン、子供向け料理教室、アール・ドゥ・ヴィーヴル、庭園芸術など)

2015年以来、トゥール・エヴヌモン社は、ル・ヴァンシ(国際会議場)にて、ジャパン・トゥール・フェスティバルを開催して以来、大きな成功を収めている。<http://www.japantoursfestival.com/>

また2011年からは、9月に高松市から2名の若者を受け入れています。トゥール市とその地方を発見する滞在で、高松市の大使として、文化体験に参加したり、学校での高松の紹介をしています。

この他、毎年、高松市からの招待で、トゥールの学校は友情の大壁画作成に参加しており、私たちの姉妹都市の高松市、中央公園で開催される冬まつりで、その絵が展示されます。

毎年、市民団体、トゥール市とその地方の専門家達やスポーツ団体が日本への旅行・研修する際には、高松市におもてなしをうけ、交流は常に豊富で継続しています。

新しく、トゥール市と、高松市ならびに香川県の実業家による、交流事業が進展しています。

2016年10月4日、第5回日仏自治体交流会議前夜の、3者間(トゥール市と庭園、ヴィランドリー城、高松市玉藻公園)調印式は、経験交流・ノウハウ・技術保護・保存・遺跡の活気づくり・経済・観光発展の方向性や生活品質の要因を強化するでしょう。

自治体交流基礎データシート		
自治体名	フランス・ヴァルドワーズ県	
面積	1 245 km ²	
人口	1,195,000 人	
姉妹（友好）都市名	大阪府(友好都市提携) 三重県(航空機産業分野)	
日仏交流窓口担当課	COMITE d'EXPANSION ECONOMIQUE VAL d'OISE (CEEVO)	
電話番号/FAX 番号	Tél: 0134253246 Fax : 0134253220	
E-mail アドレス	e.desthieux@ceevo95.fr	

1. 地勢

ヴァルドワーズ県は、パリ近郊北に位置し、パリを中心とする隣接7つの県で構成するイル＝ド＝フランス州に属する。ヴァルドワーズ県は、パリ隣接の東部と南部が特に都会化が進み、首都圏から僅か数キロメートルという地の利がある一方、非常に広大な田園スペースも確保しています。パリ開発プロジェクトのグラン・パリ計画では、ノルマンディーやフランス西部地域と同県を繋ぐ交通網が整備されます。また、県内にヨーロッパ第2の規模を誇る Roissy（シャルル・ド・ゴール）空港を擁し、全世界へと繋がります。

2. 都市の歴史、成り立ち

1964 年に旧セヌー・エ・オワーズ県から分県された成り立ちから、人口構成も若い新興県ですが、長年ヨーロッパ北部への交流玄関でもあります。

一方、多国籍企業の投資活動や優良企業の子会社進出など積極的な企業展開する上で、ヴァルドワーズ県は商活動やビジネスマンの重要な交流拠点になっている。

3. 特徴

パリに隣接する経済拠点：ヴァルドワーズ県は、国際企業の進出投資に対し多様な特性をもつ地域に様々な機会を提供しています。日本企業の進出例も現在60社以上あります。

有名な高等教育機関：ヴァルドワーズ県は、3万人の学生数を誇り、一つの大学、一つの著名ビジネススクール、六つのエンジニアリングの高等教育機関を有し、パリに次ぐイル＝ド＝フランス州における第二のキャンパスを提供しています。

主な文化遺産：ゴッホ縁のオーヴェル＝シュール＝オワーズ、ルネサンス様式のエクアン城、モビュイソン修道院、ラロッシュギュイヨン城、ロワヨモン修道院、アンギャンレバン創造都市

4. 主要産業：地域の特徴及び特産品

ヴァルドワーズ県は様々な分野の企業を受け入れています。航空機、空港関連サービス、コスメ、組込みシステムセキュリティ、安全リスク管理、環境対応製品、交通や物流、自動車産業の下請けなどに及びます。設備材製造業、自動車・航空機製造及びその周辺産業である電気、電子工業、精密工業、金属加工工業等。医薬品、航空機、ロボット等の先端技術産業についても発展中。農業では、優れた気候条件、肥沃な土壌等により「パリの菜園」と呼ばれ、野菜、果実、花、馬鈴薯等を産出。

（日本との交流関係においては医療・化粧品産業、航空機産業）

5. 日本との地域間活動や交流促進の事例

- ・都市計画、交通、社会問題と健康、高齢者や障害者支援、青少年対策に関連する分野に及ぶ両国地域の公務員や議員グループとの交流
- ・大阪のビジネスコンベンション・展示会イベント 1993 年以來の毎年参加。ヴァルドワーズ県と大阪府の友好都市提携により企業や産業クラスターの結びつきが促進され、両府県における輸出振興策として商品紹介展示の催しも出来るようになった
- ・友好都市の高等教育機関同士の交流により教師や学生が交流する学術協定が調印されるに至った

6. 今後、日仏交流において実施したいことや関心のある分野など

ヴァルドワーズ県と大阪府は 31 年間の友好都市提携により経済・産業技術・高等教育機関の分野で交流が深まり、その結果、具体的には、テクノロジーや革新的プロジェクトの出現など、ロボット工学、バイオテクノロジーの分野で企業間の交流・協力が進み、両領域の高等教育機関の間で（学生交流）も確立されました。

成功要因：良好な相互理解

- ・2つの自治体間の関係発展に伴うお互いの経済的利害、文化的関心
- ・両地域の発展と繁栄に貢献

経済効果：ヴァルドワーズ県における日本企業 60 社以上の進出事例

我々の行動は地域に外国企業の誘致を重大任務とし、ヴァルドワーズ県における経済発展や雇用創出を主に目指すが地域産業の国際化も図っている。ヴァルドワーズ県は、フランスにおける日本企業の進出投資の主要部門の一つの役割を担い、1999 年大阪に開設したヴァルドワーズ県議会開発公社の経済振興委員会(略称 CEEVO)の大阪事務所の支援を得て今日では 60 社近い日本企業を誘致し 2000 人の雇用を生むに至っている。

高等教育の分野では、地元大学やパリセーヌ **COMUE** など地域の教育機関において、お互いの大学で取得学位（ダブルディグリー）を認め合い、日本語コース、集中講義、学生の交換留学や教職員交流をしています。今日ではヴァルドワーズ県で **3750** 人の外国人学生が学び、そのうち **700** 人がアジアからの学生です。

最後に、ヴァル・ドワーズ県の観光ですが、県議会の観光開発公社が、ツアーオペレーターや日本人観光客に対し観光 PR 促進の為、観光関係者と連携し取り組んでいます。ヴァルドワーズ県は、多様で様々なニーズに応じ、また特定のテーマ（印象派画家の地、結婚式や新婚旅行、ビジネスマンの視察、レジャーやエステ美容）に沿った魅力的なコースを提案致します。